

柏市立小学校及び中学校の適正配置に
関する基本方針

平成21年10月

【平成28年3月改訂】

柏市教育委員会

目 次

はじめに	1
第Ⅰ部 国が考える学校規模の適正化	2
1 背景	2
2 教育的な観点	2
3 学校規模により発生する課題	2
(1) 小規模校	2
(2) 大規模校	3
4 小規模校の利点	4
5 望ましい学級数の考え方	4
(1) 小学校	4
(2) 中学校	5
第Ⅱ部 柏市の基本方針	6
1 市立小中学校の教育環境の現状	6
(1) 学校規模の不均衡の進行	6
(2) 校舎の老朽化	6
(3) 通学区域の現状	6
① 児童生徒数の推移	7
② 小学校の普通学級数の推移	8
③ 中学校の普通学級数の推移	9
④ 平成 27 年度柏市立小学校児童数及び学級数	10
⑤ 平成 27 年度柏市立中学校生徒数及び学級数	11
2 学校の適正規模・適正配置についての基本的な考え方	12
(1) 学校規模の定義	12
(2) 通学距離の範囲	12
(3) スクールバス等の通学時間の範囲	12
(4) 通学区域の考え方	13
(5) 学区外就学の考え方	13
① 平成 27 年学校ごとの学区外就学の状況：小学校	14
② 平成 27 年学校ごとの学区外就学の状況：中学校	15
3 学校の適正規模・適正配置の実現に向けた対応策	16
(1) 通学区域の見直し	16
(2) 隣接校との統合	16
(3) 学校の分離新設	17
(4) 遠距離通学への方策	17
(5) 様々な対応が困難な場合	17
(6) その他	17
4 学校適正配置の進め方	18
(1) 優先的に対応していく各学校ごとに、具体的な学校適正配置基本計画を 策定	18

(2) 庁内検討組織での検討	18
(3) 対応策の実行	18
5 適正配置を進める際の留意事項	18
(1) 将来を見越した早い段階での対応	18
(2) 地域との連携の必要性	19
(3) 基本方針の見直し	19
第Ⅲ部 適正規模から外れる学校の在り方を検討する目安	20
1 柏市の将来人口推計	20
(1) 超長期将来人口推計（平成26年10月作成）	20
(2) 20地域別将来人口推計（平成26年11月作成）	20
2 小学校と中学校の児童生徒数	20
(1) 推計方法	20
(2) 推計手順	20
(3) 児童・生徒数推計フロー	21
① 小学校の将来児童数	22
② 学校別年度別児童数	22
③ 将来児童数の上位5校，下位5校	23
④ 中学校の将来生徒数	24
⑤ 学校別年度別生徒数	24
⑥ 将来生徒数の上位5校，下位5校	25
3 小学校と中学校の学級数	26
(1) 推計方法	26
(2) 推計手順	26
(3) 学級数推計フロー	26
① 小学校の将来学級数	27
② 学校別年度別普通学級数	27
③ 将来普通学級数の上位5校，下位5校	28
④ 中学校の将来学級数	29
⑤ 学校別年度別普通学級数	29
⑥ 将来普通学級数の上位5校，下位5校	30
第Ⅳ部 文部科学省が策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を参考に学級数から判断する大規模校・小規模校への対応方針	31
1 小学校	31
(1) 学校の普通学級数の推移	31
(2) 学校規模の適正化の見通し	32
(3) 将来小学校の大規模校，小規模校の分布	33
①【1～5学級：複式学級が存在する規模】	34
②【6学級：クラス替えができない規模】	34
③【7～8学級：全学年ではクラス替えができない規模】	34
④【9～11学級：半分以上の学年でクラス替えができる規模】	35
⑤【25学級以上：適正規模の上限24学級を上回る規模】	35

2 中学校	36
(1) 学校の普通学級数の推移	36
(2) 学校規模の適正化の見通し	37
(3) 将来中学校の大規模校，小規模校の分布	38
①【1～2学級：複式学級が存在する規模】	39
②【3学級：クラス替えができない規模】	39
③【4～5学級：全学年ではクラス替えができる学年が少ない規模】	39
④【6～8学級：全学年でクラス替えができ，同学年に複数教員を配置できる規模】	40
⑤【9～11学級：全学年でクラス替えができ，同学年での複数教員配置や，免許外指導の解消が可能な規模】	40
⑥【25学級以上：適正規模の上限24学級を上回る規模】	40
第V部 対象とする学校・地域	41
1 適正配置を速やかに検討する学校	41
2 学校規模を注視し，教育上の課題が生じている場合には，適正配置を検討する学校	41
3 現在の状況と今後の方針	42
参考資料	44
◎ 文部科学省等の動き	44
◎ 文部科学省が実施した市町村へのアンケート一部抜粋	44

はじめに

柏市の児童生徒数は、小学校で昭和58年、中学校で昭和62年にピークとなり、その後減少に転じて推移してきたが、小学校では平成16年、中学校では平成17年に下げ止まり、その後は増加に転じている。

特に、中高層共同住宅の建設や小規模な宅地開発、大規模な区画整理事業等が進む地域では児童生徒が急増しており、教室不足が深刻な問題となっている。

柏駅周辺に中高層共同住宅の計画が複数あり、再開発事業（柏駅東口D街区第一地区第一種市街地再開発事業）、区画整理事業（手賀の杜地区、柏の葉キャンパス駅周辺及び柏たなか駅周辺）による人口増加が顕著になってきている。

一方で、通学区域のほとんどが市街化調整区域のため人口流入がない地域や、少子高齢化が進む地域では、児童生徒の増加が見込まれず、単学級や複式学級編成への移行が懸念されている。

田中北小学校、富勢東小学校、富勢西小学校、手賀西小学校、手賀東小学校、手賀中学校においては単学級になっており、特に手賀東小学校は複式学級編成を行っている。

また、通学区域の中心に学校が位置していない地域や都市整備により地域の状況が変化し、通学に不便が生じているような地域では学校配置に課題がでてきている。

このような大規模校や小規模校が混在する状況や学校の配置等の問題は、教育環境に不均衡を生じさせ、学習面、生活面及び学校運営面等に様々な影響を及ぼすことが考えられる。義務教育の公平性の確保、一定の教育水準の維持及び向上を図るためには、学校規模や配置による格差を小さくすることが必要であると考えられる。

「子どもたちにとってどのような教育環境が望ましいのか」を考えると、学校の適正配置は、解決しなくてはならない問題である。

このため、本方針は平成21年に策定され5年以上が経過していることから、現状との検証作業を行い、本方針の見直しを行うものである。

第 I 部 国が考える学校規模の適正化

【公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引】

～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～

平成27年1月文部科学省 より抜粋

1 背景

児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられる。

2 教育的な観点

学校規模の適正化を図る上では、第一に学校の果たす役割を再確認する必要がある。義務教育段階の学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的としている。

このため、学校では、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要になる。

そうした教育を十全に行うためには、一定の規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員集団が配置されていることが望ましいものと考えられる。

このようなことから、一定の学校規模を確保することが重要となる。

3 学校規模により発生する課題

(1) 小規模校

- ・クラス替えが全部又は一部の学年でできない。
- ・クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。

- ・加配（定員を上回って教員を割り当てること）なしには、習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくい。
- ・クラブ活動や部活動の種類が限定される。
- ・運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる。
- ・男女比の偏りが生じやすい。
- ・上級生・下級生間のコミュニケーションが少なくなる，学習や進路選択の模範となる先輩の数が少なくなる。
- ・体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。
- ・班活動やグループ分けに制約が生じる。
- ・協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる。
- ・教科等が得意な子供の考えにクラス全体が引っ張られがちとなる。
- ・生徒指導上課題がある子供の問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける。
- ・児童生徒から多様な発言が引き出しにくく，授業展開に制約が生じる。
- ・教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎる。

(2) 大規模校

- ・学校行事等において，係や役割分担のない子供が現れる可能性があるなど，一人一人が活躍する場や機会が少なくなる場合がある。
- ・集団生活においても同学年の結び付きが中心となり，異学年交流の機会が設定しにくくなる場合がある。
- ・同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど，児童生徒間の人間関係が希薄化する場合がある。
- ・教員集団として，児童生徒一人一人の個性や行動を把握し，きめ細かな指導を行うことが困難であり，問題行動が発生しやすい場合がある。
- ・児童生徒一人当たりの校舎面積，運動場面積等が著しく狭くなった場合，教育活動の展開に支障が生じる場合がある。

- ・ 特別教室や体育館，プール等の利用に当たって授業の割当てや調整が難しくなる場合がある。
- ・ 学校運営全般にわたり，校長が一体的なマネジメントを行ったり，教職員が十分な共通理解を図ったりする上で支障が生じる場合がある。

4 小規模校の利点

- ・ 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき，補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。
- ・ 意見や感想を発表できる機会が多くなる。
- ・ 様々な活動において，一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。
- ・ 複式学級においては，教師が複数の学年間を行き来する間，児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる。
- ・ 運動場や体育館，特別教室などが余裕をもって使える。
- ・ 教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。例えば，ICT機器や高価な機材でも比較的少ない支出で全員分の整備が可能である。
- ・ 異年齢の学習活動を組みやすい，体験的な学習や校外学習を機動的に行うことができる。
- ・ 地域の協力が得られやすいため，郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。
- ・ 児童生徒の家庭の状況，地域の教育環境などが把握しやすいため，保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる。

5 望ましい学級数の考え方

(1) 小学校

複式学級を解消するためには少なくとも1学年1学級以上（6学級以上）であることが必要となる。また，全学年でクラス替えを可能としたり，学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり，同学年に複数教員を配置するために

は1学年2学級以上（12学級以上）あることが望ましいものと考えられる。

(2) 中学校

全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編成を可能としたり、同学年に複数教員を配置するためには、少なくとも1学年2学級以上（6学級以上）が必要となる。また、免許外指導をなくしたり、全ての授業で教科担任による学習指導を行ったりするためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましいものと考えられる。

第Ⅱ部 柏市の基本方針

1 市立小中学校の教育環境の現状

(1) 学校規模の不均衡の進行

柏市においては、1,000人を超える大規模校はないが、100人以下の小規模校(小学校1校、中学校1校)がある。

学校規模の大小により、教育活動や学校運営に課題が生じている。

平成27年5月1日現在、最大規模の学校は、柏第五小学校942人27学級、柏第二中学校800人22学級、最小規模の学校は手賀東小学校48人5学級、手賀中学校82人3学級となっている。

(2) 校舎の老朽化

学校施設の多くは、児童生徒の急激な増加に対応して、昭和40年代から50年代に整備されたものである。30年以上経過したものが約7割と相当数あり、老朽校舎の改築等も検討する必要がある。

(3) 通学区域の現状

人口急増期に整備された学校については、必ずしも通学区域の中心に位置していない状況となっている。これは、児童生徒を受け入れるために学校を分離新設したことが主な理由と考えられる。新設された学校の通学区域は、児童生徒数を考慮しながら、受け入れを優先して設定してきたため、町会等の区域と一致していない地域もあり、複数の通学区域が町会等を分割しているような状況がある。

また、学校創立後、新たに道路等が開通した地域では、道路により通学区域が分断された地域や、隣接校へ通学する方がより安全になった地域があり、現状の通学区域に歪みが生じているところがある。

通学距離の基準は、「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」で小学校はおおむね4km以内、

中学校はおおむね6km以内と定めている。現状においてもこの範囲内となっている。

① 児童生徒数の推移



② 小学校の普通学級数の推移 ※実績：平成17年～27年，特別支援学級は除く

学級数	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
40											
39											
38											
37											
36											
35											
34											
33											
32											
31											
30		柏一小 柏二小	柏一小 柏二小	柏一小 柏二小	柏一小 柏二小						
29	柏二小					柏一小					
28							柏五小 柏一小 柏三小		柏五小 柏三小	柏五小	
27	柏一小	中原小			柏五小	柏五小					柏三小 柏五小
26	中原小	柏三小 柏五小	柏五小 上南部小 中原小	柏三小 柏五小	柏三小 光ヶ丘小	柏二小 柏三小		柏一小 柏三小 柏五小 富勢小		柏三小	柏三小 風北小
25	柏三小 上南部小	上南部小 松葉二小		光ヶ丘小 富勢小 上南部小 中原小	富勢小 上南部小	光ヶ丘小 富勢小	柏二小 富勢小 中原小			風北小	
24	柏五小 松葉二小	光ヶ丘小 富勢小	光ヶ丘小 富勢小 柏八小 柏八小 西原小 松葉二小	柏八小 西原小 松葉二小	柏八小 西原小 松葉二小	上南部小 西原小 中原小 松葉二小	光ヶ丘小	上南部小 中原小	柏二小 富勢小 中原小	富勢小	光ヶ丘小 中原小
23	光ヶ丘小 富勢小 柏八小 西原小	柏八小 西原小			中原小		上南部小 西原小 松葉二小	柏二小 光ヶ丘小	柏二小 柏四小 上南部小 風北小	柏四小 上南部小 中原小	柏四小 富勢小 上南部小
22				高柳小		柏八小	柏八小 松葉一小	西原小 風北小	光ヶ丘小 西原小 高柳小	柏一小 柏二小 高柳小	
21				高柳小		松葉一小	柏四小 柏七小 風北小	柏四小 田中小 柏八小 松葉二小	柏八小 豊小 松葉二小	光ヶ丘小 西原小 豊小	柏一小 柏二小 田中小 松葉二小 高柳小
20		高柳小	高柳小	豊小	田中小 豊小 松葉一小	田中小 豊小 風北小 高柳小	田中小 豊小 豊小	柏七小 豊小 高柳小	田中小	柏八小 松葉二小	西原小
19	酒井根小 高柳小	酒井根小 増尾西小 松葉一小	田中小 酒井根小 増尾西小 豊小 松葉二小	田中小 柏七小 酒井根小 増尾西小 松葉一小	柏七小 酒井根小	柏四小 柏七小	高田小 高柳小	酒井根小 高田小	柏七小 旭小 高田小	田中小 酒井根小 旭小	柏八小 酒井根小 旭小 高田小 豊小
18	柏七小 増尾西小 松葉一小	田中小 柏七小	柏七小		柏四小 増尾西小 十余二小	酒井根小 旭小 増尾西小 十余二小 高柳西小	酒井根小 増尾西小 酒東小 高柳西小	旭小 増尾西小 酒東小 松葉一小 高柳西小	酒井根小 増尾西小 酒東小 松葉一小	柏七小 高田小 増尾西小 酒東小	柏七小 増尾西小 酒東小 松葉一小 十余二小 柏の葉小 藤心小
17	田中小 豊小	豊小		十余二小 高柳西小	風北小 高柳西小	高田小 酒東小	十余二小	十余二小	酒東小 十余二小 高柳西小 藤心小	松葉一小 十余二小	
16		十余二小	十余二小 高柳西小	柏四小	旭小 高田小 酒東小	藤心小	藤心小	藤心小	藤心小	藤心小 柏の葉小 高柳西小	
15		高柳西小	柏四小 高田小 酒東小	旭小 高田小 風北小 藤心小 酒東小	藤心小 大津一小	土小	土小 逆井小	逆井小			
14	十余二小 高柳西小	柏四小 土小	旭小 大津一小 藤心小	土小 大津一小	土小 大津二小	逆井小 大津一小 大津二小	大津一小 大津二小	土小 大津二小	逆井小 大津二小	土小 逆井小 大津二小	
13	柏四小 藤心小 高田小	旭小 藤心小 高田小 酒東小 大津一小 大津二小	土小 藤心小	土小 大津一小	土小 大津二小	逆井小 大津一小 大津二小	大津一小 大津二小	土小 大津二小	逆井小 大津二小	土小 逆井小 大津二小	土小 逆井小 大津二小 高柳西小
12	旭小 酒西小 名戸小 逆井小 花野井小 富勢西小 風南小 風北小 大津二小	酒西小 名戸小 逆井小 花野井小 風北小	酒西小 名戸小 逆井小 旭東小 富勢西小 大津二小	酒西小 名戸小 逆井小 旭東小 富勢西小 風南小 大津二小	酒西小 名戸小 逆井小 旭東小 富勢西小 風南小	酒西小 名戸小 旭東小 富勢西小 風南小	酒西小 名戸小 旭東小 富勢西小 風南小	酒西小 旭東小 風南小 大津一小	土小 名戸小 旭東小 風南小 大津二小 柏の葉小	酒西小 旭東小 風南小 大津一小	柏六小 酒西小 旭東小 花野井小 風南小 大津一小
11		旭東小 富勢西小 風南小	花野井小 風南小				富勢西小	名戸小 花野井小 柏の葉小 富勢西小	酒西小 花野井小	名戸小 花野井小	名戸小
10				花野井小	花野井小	花野井小	花野井小		富勢西小	柏六小	
9									柏六小		
8	旭東小								手賀西小	富勢西小 手賀西小	富勢西小 手賀西小
7								柏六小 手賀西小	手賀西小	富勢西小 手賀西小	富勢西小 手賀西小
6	柏六小 田中北小 富勢東小 手賀西小	柏六小 田中北小 富勢東小 手賀西小	柏六小 田中北小 富勢東小 手賀西小	柏六小 田中北小 富勢東小 手賀西小	柏六小 田中北小 富勢東小 手賀西小	柏六小 田中北小 富勢東小 手賀西小	柏六小 田中北小 富勢東小 手賀西小	柏六小 田中北小 富勢東小 手賀西小	田中北小 富勢東小 手賀東小	田中北小 富勢東小	田中北小 富勢東小
5								手賀東小		手賀東小	手賀東小
学級数計	649	673	686	693	705	707	712	708	708	702	708

※学区外就学による受け入れ人数を制限する学校→黄色
 学区外就学による受け入れができない学校→オレンジ色

③ 中学校の普通学級数の推移 ※実績：平成17年～27年，特別支援学級は除く

学級数	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
26											
25											
24											
23											
22											柏二中
21				柏二中 酒井根中	柏二中	柏二中	柏二中	柏二中		柏二中	
20	柏二中		柏二中 酒井根中		光ヶ丘中 酒井根中				柏二中	酒井根中	酒井根中
19		柏二中				光ヶ丘中 酒井根中	光ヶ丘中 豊四季中	豊四季中	豊四季中	豊四季中	豊四季中
18	柏中 富勢中	柏中 富勢中 酒井根中	柏中 富勢中	柏中 光ヶ丘中	柏中 松葉中	豊四季中	酒井根中	富勢中 光ヶ丘中 酒井根中 松葉中	富勢中 光ヶ丘中 酒井根中	富勢中	富勢中
17			光ヶ丘中	富勢中 松葉中	富勢中	柏中	柏中 富勢中 松葉中 高柳中	柏中	柏中 逆井中 松葉中	柏中 光ヶ丘中	高柳中
16		光ヶ丘中	松葉中		豊四季中 高柳中	富勢中 高柳中		高柳中	高柳中	中原中 高柳中	柏中 光ヶ丘中 柏五中 西原中 松葉中
15	光ヶ丘中 酒井根中 西原中 松葉中	松葉中		豊四季中	西原中	西原中	西原中 逆井中 中原中	西原中 逆井中 中原中	西原中 中原中	柏五中 西原中 大津中	逆井中 中原中
14	田中中 中原中	田中中 西原中 豊四季中	田中中 西原中 豊四季中	田中中 南部中 西原中 高柳中		中原中		田中中 柏五中	田中中 柏五中 大津中	田中中 逆井中	田中中 大津中
13	豊四季中	逆井中 中原中	南部中 逆井中 高柳中	逆井中 中原中	田中中 南部中 逆井中 中原中	柏五中 逆井中	田中中 柏五中	大津中	南部中		
12	柏四中 南部中 柏五中 逆井中 高柳中	柏四中 南部中 柏五中 大津中 高柳中	柏四中 柏五中 中原中	柏四中 柏五中	柏四中 柏五中	田中中 南部中 大津中	南部中 大津中	南部中	柏四中	柏四中 南部中	柏四中 南部中
11	柏三中 大津中				大津中	柏四中		柏四中		柏三中	柏三中
10	風早中	柏三中 風早中	風早中 大津中	大津中			柏四中	柏三中	柏三中 風早中		風早中
9		土中	土中 柏三中	土中 柏三中 風早中	土中 柏三中 風早中	土中 柏三中 風早中	土中 柏三中 風早中	土中 風早中	土中	土中 風早中	土中
8	土中										
7											
6											
5	手賀中	手賀中	手賀中								
4				手賀中							
3					手賀中	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中
学級数計	262	266	269	274	278	276	280	285	289	290	291

※学区外就学による受け入れ人数を制限する学校→黄色

学区外就学による受け入れができない学校→オレンジ色

④ 平成 27 年度 柏市立小学校児童数及び学級数（平成 27 年 5 月現在）

No.	学校名	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		特文学級児童数					児童数合計		実学級数合計				
		児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	児童数	学級	知的	情緒	言語	難聴	学級数	普通学級 児童数	総児童数 (普+特)	普通	知的	情緒	言語 難聴	合計
	合 計	3,566	128	3,582	124.0	3,465	113.0	3,422	111	3,516	117	3,540	116	251	180	2	1	81	21,091	21,525	708	46	33	2	789
1	柏一小	87	3	121	4	109	3	111	3	121	4	136	4	10				2	685	695	21	子2			23
2	柏二小	115	4	103	3	103	3	103	3	120	4	122	4	9				2	666	675	21	子2			23
3	柏三小	157	5	154	5	159	5	102	3	164	5	132	4	11	6		1	4	868	886	27	子2	ジ1	ナ1	31
4	柏四小	128	4	115	4	136	4	126	4	122	4	109	3	4				1	736	740	23	子1			24
5	柏五小	174	5	163	5	147	4	132	4	157	5	154	4	3	12			3	927	942	27	子1	ジ2		30
6	柏六小	74	3	72	3	51	2	51	2	29	1	27	1	13				2	304	317	12	子2			14
7	光 小	146	5	108	4	116	4	137	4	116	4	108	3	8	1			2	731	740	24	子1	ジ1		26
8	土 小	46	2	71	3	60	2	44	2	74	2	71	2	6				1	366	372	13	子1			14
9	富勢小	125	4	124	4	113	3	130	4	118	4	137	4	7	8			2	747	762	23	子1	ジ1		25
10	田中小	125	4	103	3	101	3	119	4	116	4	102	3	7	7			2	666	680	21	子1	ジ1		23
11	田中北小	32	1	26	1	24	1	17	1	20	1	19	1					0	138	138	6				6
12	土南部小	117	4	109	4	120	4	130	4	104	3	115	4	9	8			3	695	712	23	子2	ジ1		26
13	柏七小	96	3	98	3	77	3	90	3	101	3	85	3	15				2	547	562	18	子2			20
14	柏八小	89	3	83	3	78	3	95	3	118	4	100	3	9				2	563	572	19	子2			21
15	酒井根小	113	4	103	3	101	3	104	3	103	3	101	3		10			2	625	635	19		ジ2		21
16	西原小	74	3	110	4	103	3	101	3	92	3	125	4	10	4			3	605	619	20	子2	ジ1		23
17	旭小	90	3	99	3	103	3	99	3	95	3	115	4	4				1	601	605	19	子1			20
18	藤心小	72	3	83	3	77	3	74	2	81	3	83	3	16				2	470	486	17	子2			19
19	中原小	108	4	118	4	127	4	117	4	129	4	149	4	13	5			3	748	766	24	子2	ジ1		27
20	酒井根西小	40	2	39	2	40	2	57	2	39	2	66	2	2				1	283	285	12	子1			13
21	高田小	107	4	99	3	93	3	101	3	87	3	99	3	7	5			2	586	598	19	子1	ジ1		21
22	名戸ヶ谷小	42	2	49	2	39	2	35	1	46	2	49	2	2	9			3	260	271	11	子1	ジ2		14
23	増尾西小	74	3	88	3	89	3	88	3	82	3	96	3	13				2	517	530	18	子2			20
24	逆井小	61	2	59	2	65	2	55	2	72	2	79	3	3	7			2	391	401	13	子1	ジ1		15
25	富勢東小	12	1	17	1	26	1	11	1	22	1	13	1		2			1	101	103	6		ジ1		7
26	豊小	105	3	101	3	100	3	116	4	86	3	104	3		12			2	612	624	19		ジ2		21
27	酒井根東小	77	3	76	3	87	3	84	3	111	3	91	3		13			2	526	539	18		ジ2		20
28	旭東小	48	2	58	2	43	2	56	2	56	2	53	2	8				1	314	322	12	子1			13
29	松葉一小	112	4	79	3	97	3	76	2	85	3	87	3	10				2	536	546	18	子2			20
30	花野井小	40	2	52	2	41	2	45	2	39	2	46	2		7			1	263	270	12		ジ1		13
31	松葉二小	106	4	122	4	116	4	94	3	110	3	104	3		17			3	652	669	21		ジ3		24
32	富西小	20	1	24	1	32	1	25	1	22	1	39	2	6	10			3	162	178	7	子1	ジ2		10
33	十余二小	84	3	96	3	100	3	77	3	87	3	83	3		8			1	527	535	18		ジ1		19
34	風早南小	43	2	45	2	45	2	53	2	44	2	46	2	7	6			2	276	289	12	子1	ジ1		14
35	風早北小	143	5	168	5	125	4	142	4	139	4	116	4	6				1	833	839	26	子1			27
36	手賀西小	38	2	16	1	31	1	38	1	23	1	16	1	3				1	162	165	7	子1			8
37	手賀東小	6	1	13	1	9	1	6	1	6	0.5	8	0.5					0	48	48	5				5
38	高柳小	133	4	110	4	114	3	113	3	137	4	101	3	13	8			3	708	729	21	子2	ジ1		24
39	大津一小	51	2	53	2	58	2	65	2	60	2	54	2	7		2		2	341	350	12	子1		ケ1	14
40	大津二小	54	2	70	3	63	2	45	2	61	2	68	2	5	9			3	361	375	13	子1	ジ2		16
41	高柳西小	59	2	59	2	71	2	74	2	72	2	82	3	4	3			2	417	424	13	子1	ジ1		15
42	柏の葉小	143	5	126	4	76	2	84	3	50	2	48	2	1	3			2	527	531	18	子1	ジ1		20

⑤ 平成 27 年度 柏市立中学校生徒数及び学級数 (平成 27 年 5 月現在)

No.	学校名	1年生		2年生		3年生		特支学級生徒数					生徒数合計		実学級数合計			
		生徒数	学級	生徒数	学級	生徒数	学級	知的	情緒	言語	難聴	学級数	普通学級 生徒数	総生徒数 (普+特)	普通	知的	情緒	合計
	合計	3,261	98	3,343	99	3,265	94	105	48	0	0	32	9,869	10,022	291	22	10	323
1	柏中	178	6	183	5	170	5	5				1	531	536	16	チ1		17
2	柏二中	267	8	298	8	221	6	10	4			3	786	800	22	チ2	ジ1	25
3	土中	89	3	79	3	83	3	6				1	251	257	9	チ1		10
4	富勢中	192	6	207	6	220	6	5	8			2	619	632	18	チ1	ジ1	20
5	田中中	149	4	159	5	157	5	4				1	465	469	14	チ1		15
6	光ヶ丘中	205	6	180	5	177	5	3	4			2	562	569	16	チ1	ジ1	18
7	柏三中	112	4	122	4	104	3	5				1	338	343	11	チ1		12
8	柏四中	126	4	125	4	130	4	9				2	381	390	12	チ2		14
9	南部中	141	4	145	4	155	4	6				1	441	447	12	チ1		13
10	柏五中	217	6	173	5	165	5	10				2	555	565	16	チ2		18
11	酒井根中	201	6	234	7	236	7	6	6			2	671	683	20	チ1	ジ1	22
12	西原中	169	5	193	6	189	5	1				1	551	552	16	チ1		17
13	逆井中	166	5	154	5	186	5	11				2	506	517	15	チ2		17
14	松葉中	193	5	211	6	192	5	4	3			2	596	603	16	チ1	ジ1	18
15	中原中	160	5	183	5	166	5		8			1	509	517	15		ジ1	16
16	豊四季中	222	6	223	6	229	7	5				1	674	679	19	チ1		20
17	風早中	109	4	92	3	120	3	3	6			2	321	330	10	チ1	ジ1	12
18	手賀中	34	1	24	1	21	1		3			1	79	82	3		ジ1	4
19	大津中	147	4	167	5	169	5	5	3			2	483	491	14	チ1	ジ1	16
20	高柳中	184	6	191	6	175	5	7	3			2	550	560	17	チ1	ジ1	19

2 学校の適正規模・適正配置についての基本的な考え方

適正規模・適正配置に関する基本的な考え方については、以下のとおりとする。

(1) 学校規模の定義

	小規模	適正規模	大規模
小学校	1 1 学級以下	1 2 ~ 2 4 学級 (各学年 2 ~ 4 学級)	2 5 学級以上
中学校	1 1 学級以下	1 2 ~ 2 4 学級 (各学年 4 ~ 8 学級)	2 5 学級以上

学校間の教育条件・教育水準を一定に保ち、教育の公平性を確保し、規模によるそれぞれの課題が解消される学校規模としては、小中学校ともに 1 2 学級から 1 8 学級が望ましいが、現状では 3 分の 1 の学校が 1 8 学級を超えているため、学校規模については 2 4 学級までを許容範囲とし、柏市の学校適正規模は 1 2 学級から 2 4 学級とする。

(2) 通学距離の範囲

学校の適正配置を進めていく上で、規模と配置の両方を考えなくてはならず、通学距離についても考慮する必要がある。

このため、柏市の適正な通学距離の範囲は、法令に規定されているとおりにする。

小学校	中学校
おおむね 4 k m 以内	おおむね 6 k m 以内

(3) スクールバス等の通学時間の範囲

登下校時にスクールバス等を運行させる場合には、おおむね 1 時間以内とする。なお、児童生徒の負担を軽減させるため、極力 4 0 分以内の通学時間を目指す。

通学時間 (基準)	おおむね 1 時間以内
通学時間 (目標値)	おおむね 4 0 分以内

※通学時間の目標値「おおむね40分以内」については、平成27年9月に実施した「柏市立小中学校の教育環境に関するアンケート」の結果を反映させたもの。

(4) 通学区域の考え方

「小学校又は中学校が2校以上ある場合、学校教育法施行令の規定により就学予定者等の就学すべき小学校又は中学校を指定すること」とされており、教育委員会は、通常あらかじめ各学校ごとに通学区域を設定し、これに基づいて就学すべき学校を指定する。

(5) 学区外就学の考え方

学区外就学について、文部科学省は「通学区域制度の運用に当たっては、行政改革委員会の「規制緩和の推進に関する意見（第2次）」の趣旨を踏まえ、各市町村教育委員会において、地域の実情に即し、保護者の意向に十分配慮した多様な工夫を行うこと」とされており、推進すべき取り組みとなっている。

このことにより、柏市では学校の適正規模を損なわない範囲で、児童生徒の受け入れができる学校において実施している。

そのため、学区外就学により児童生徒数が大きく増減する学校はあるが、許容の範囲としている。

① 平成 27 年学校ごとの学区外就学の状況：小学校

平成27年5月現在

NO.	学校名	就学児童数	許可数合計	指定校減合計	学区内児童数	就学増減率
1	手賀西小学校	165	105	4	64	257.8%
2	松葉第一小学校	546	238	13	321	170.1%
3	旭小学校	605	149	20	476	127.1%
4	酒井根東小学校	539	137	31	433	124.5%
5	富勢小学校	762	162	49	649	117.4%
6	松葉第二小学校	669	148	49	570	117.4%
7	柏第三小学校	886	170	40	756	117.2%
8	手賀東小学校	48	10	4	42	114.3%
9	大津ヶ丘第一小学校	350	36	8	322	108.7%
10	酒井根小学校	635	121	71	585	108.5%
11	柏第二小学校	675	58	9	626	107.8%
12	中原小学校	766	96	43	713	107.4%
13	田中小学校	680	57	21	644	105.6%
14	柏第一小学校	695	51	22	666	104.4%
15	藤心小学校	486	32	12	466	104.3%
16	十余二小学校	535	25	4	514	104.1%
17	風早南部小学校	289	13	3	279	103.6%
18	光ヶ丘小学校	740	51	26	715	103.5%
19	増尾西小学校	530	52	39	517	102.5%
20	柏第五小学校	942	64	49	927	101.6%
21	土南部小学校	712	106	99	705	101.0%
22	高柳西小学校	424	5	5	424	100.0%
23	高柳小学校	729	2	5	732	99.6%
24	西原小学校	619	3	10	626	98.9%
25	柏の葉小学校	531	15	22	538	98.7%
26	土小学校	372	8	15	379	98.2%
27	大津ヶ丘第二小学校	375	4	11	382	98.2%
28	旭東小学校	322	41	48	329	97.9%
29	柏第七小学校	562	93	117	586	95.9%
30	豊小学校	624	25	53	652	95.7%
31	高田小学校	598	31	73	640	93.4%
32	田中北小学校	138	6	18	150	92.0%
33	風早北部小学校	839	6	134	967	86.8%
34	柏第八小学校	572	17	120	675	84.7%
35	富勢東小学校	103	5	27	125	82.4%
36	逆井小学校	401	8	95	488	82.2%
37	名戸ヶ谷小学校	271	8	67	330	82.1%
38	柏第四小学校	740	30	225	935	79.1%
39	柏第六小学校	317	90	175	402	78.9%
40	酒井根西小学校	285	2	144	427	66.7%
41	富勢西小学校	178	17	131	292	61.0%
42	花野井小学校	270	12	198	456	59.2%
	計	21,525	2,309	2,309	21525	100.0%

※ は、24学級を超える大規模校

※ は、12学級未満の小規模校

※ No.は学区外就学による児童数の増→減順

② 平成 27 年 学 校 ご と の 学 区 外 就 学 の 状 況 : 中 学 校

平成27年5月現在

NO.	学校名	就学生徒数	許可数合計	指定校減合計	学区内生徒数	就学増減率
1	松葉中学校	603	171	59	491	122.8%
2	豊四季中学校	679	147	51	583	116.5%
3	柏中学校	536	82	21	475	112.8%
4	柏第二中学校	800	107	18	711	112.5%
5	富勢中学校	632	70	19	581	108.8%
6	逆井中学校	517	83	44	478	108.2%
7	手賀中学校	82	11	6	77	106.5%
8	中原中学校	517	102	80	495	104.4%
9	酒井根中学校	683	63	43	663	103.0%
10	光ヶ丘中学校	569	58	45	556	102.3%
11	高柳中学校	560	16	12	556	100.7%
12	西原中学校	552	4	7	555	99.5%
13	風早中学校	330	10	16	336	98.2%
14	大津ヶ丘中学校	491	18	34	507	96.8%
15	柏第四中学校	390	51	81	420	92.9%
16	土中学校	257	21	59	295	87.1%
17	南部中学校	447	18	86	515	86.8%
18	柏第五中学校	565	23	138	680	83.1%
19	田中中学校	469	6	125	588	79.8%
20	柏第三中学校	343	48	165	460	74.6%
計		10,022	1,109	1,109	10,022	100.0%

※ 緑色部分は、12学級未満の小規模校
 ※ No.は学区外就学による生徒数の増→減順

3 学校の適正規模・適正配置の実現に向けた対応策

学校の適正な配置を進める際には、学校の適正規模化と併せて検討していかななくてはならない。その具体的な方法としては、「通学区域の見直し」、「学校の統合」及び「学校の分離新設」が考えられる。小規模校、大規模校を解消するにはそれぞれ適した対応が必要である。

(1) 通学区域の見直し

通学区域の見直しを行う際には、児童生徒数の推移や通学路の安全面、町会等地域とのつながりにできるだけ配慮する。

なお、児童生徒数が微増を続けており、人口の転出入が多く児童生徒数推移の予測が難しい柏市において、「通学区域の見直し」によって適正規模を保つのは、学校によっては難しい場合がある。また、大規模校の周辺校が必ずしも小規模校ではなく、通学区域の見直しを行っても、結果的に周辺校も含めて大規模校化し、教室不足等が発生することがあるので注意が必要である。

そのため、仮設校舎を建設し児童生徒を受け入れつつ減少傾向になることで、学校の適正規模を図ることも併せて検討することが必要である。

(2) 隣接校との統合

小規模校、特に単学級の学校が複式学級編成になる場合や、今後の児童生徒数の推移から判断して学校規模が改善しない場合は、抜本的な対策として隣接校（隣接地域も含む）との統合の検討が必要である。

なお、適正規模を保つにはどの程度の通学区域が適切か、小学校と中学校で考えなければならない。

また、災害時の避難所としての機能やその他学校以外の都市機能への配慮が必要で、市長部局等教育委員会以外の関係機関とも慎重な調整が必要である。

学校の跡地利用については、全庁的に検討を行う必要がある。

(3) 学校の分離新設

児童生徒数の増加により，継続して学校の大規模化が続き，かつ用地の確保ができる場合は，学校を分離新設することを検討する。

なお，適正規模を保つにはどの程度の通学区域が適切か，小学校と中学校で考えなければならない。

但し，駅周辺等は用地の確保が困難な場合が多く，学校の分離新設ができない場合は，校地内に仮設校舎を建設し児童生徒を受け入れつつ減少傾向になることで，学校の適正規模を図ることも併せて検討することが必要である。

また，災害時の避難所としての機能やその他学校以外の都市機能への配慮が必要で，市長部局等教育委員会以外の関係機関とも慎重な調整が必要である。

(4) 遠距離通学への方策

学校の統合により通学距離が著しく長くなる場合は，児童生徒にとって過大な負担とならないよう，スクールバス等の通学手段について検討する。

なお，隣接校との統合等により通学距離が規定されている距離を超える場合には，スクールバスの運行も検討し，その場合はおおむね1時間以内（児童生徒への影響を考え極力40分以内とする）の通学時間とする。

その際には，放課後の活動に時間的制限がかかることや，配車事務等新たな業務や予算が発生することも併せて検討することが必要である。

(5) 様々な対応が困難な場合

通学区域の変更，隣接校との統合，学校の分離新設等様々な対策が困難と判断される学校については，既存教育施設の整備，改善を図り，また，講師等の人的配置にも考慮しながら，可能な限り望ましい教育環境を維持していくよう努める。

(6) その他

通学区域の変更，隣接校との統合，分離新設のように，児童生徒が新たな学校に通学する場合には，学校用地の拡張，校舎

の増設，学校施設の大規模改修，老朽化した備品の交換等必要な対策を検討し，教育環境が向上するよう対策を講じることも必要である。

4 学校適正配置の進め方

学校の適正配置は，学校規模及び通学距離が適正な範囲から外れた場合に検討を行うが，該当校全てを対象に一斉に実施するのではなく，緊急性が高い学校，特に文部科学省の手引にある「速やかに検討する単学級以下の学校」を優先的に対応していくこととする。

(1) 優先的に対応していく各学校ごとに，具体的な学校適正配置基本計画を策定

現在，児童生徒数が微増を続けており，人口の転出入が多く児童生徒数推移の予測が難しい柏市において，全校を対象とした実施計画を策定するのは難しいため，各該当校ごとに「学校適正配置基本計画」を策定し，通学区域の見直しや学校の統合等を教育委員会で決定する。また，これらの情報については，速やかに公表するよう努める。

(2) 庁内検討組織での検討（必要に応じて）

必要に応じて庁内の関係部課長や学校長等で組織する「（仮称）学校適正配置検討会」を設置し，対策の検討を行う。

(3) 対応策の実行

具体的な計画が決定された後は，より速やかに適正配置が進むよう，保護者や学校関係者，地域の方々に組織する「（仮称）学校適正配置実行委員会」において実現に向けた準備を行う。

5 適正配置を進める際の留意事項

(1) 将来を見越した早い段階での対応

学校の適正規模化を図るには、将来を見越した早い段階での対応が必要であると考え。そのためには、児童生徒数の増加や減少が見込まれる場合は、関係部署や関係機関と連携・協議を行い適正規模化が図られるよう対応を検討する。

(2) 地域との連携の必要性

具体的に適正配置を推進する場合には、「教育環境の向上」という視点で地域と協力する必要がある。保護者や学校関係者及び地域の方々と地域の課題を共有し、どのように課題を解決していくのか、考えていくことが大切と考え、適正配置の対象となる学校だけではなく、周辺校を含め対応策や今後の方向性について示し、検討することが必要である。

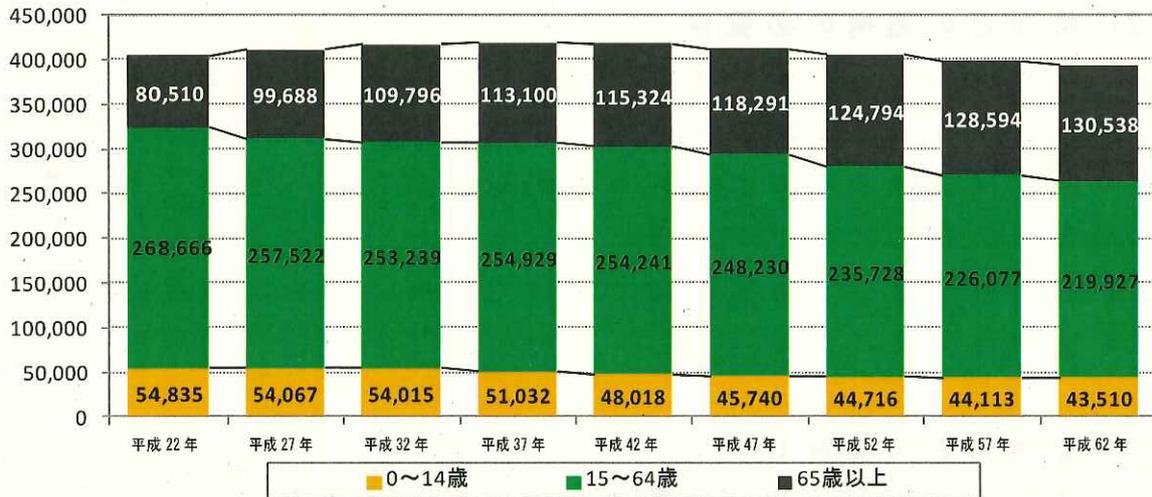
(3) 基本方針の見直し

本基本方針は、社会情勢の変化に併せ検討を行い、おおむね5年を目途に見直しを図っていく。

第Ⅲ部 適正規模から外れる学校の在り方を検討する目安

1 柏市の将来人口推計

(1) 超長期将来人口推計（平成26年10月作成）



(2) 20地域別将来人口推計（平成26年11月作成）

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
西原地域	22,980	22,855	22,720	22,576	22,433	22,275	22,109	21,922	21,732	21,521
田中地域	38,471	40,062	41,694	43,374	45,096	46,876	48,713	50,580	52,490	54,470
富勢地域	23,868	23,591	23,309	23,018	22,719	22,412	22,096	21,772	21,441	21,098
松葉地域	11,418	11,276	11,139	11,002	10,859	10,720	10,570	10,430	10,282	10,123
高田・松ヶ崎地域	18,733	18,873	19,011	19,141	19,262	19,367	19,472	19,565	19,649	19,724
豊四季台地域	30,441	30,654	30,856	31,044	31,212	31,371	31,529	31,669	31,794	31,898
新富地域	30,168	30,479	30,792	31,097	31,411	31,713	32,005	32,288	32,564	32,835
旭町地域	12,462	12,636	12,808	12,981	13,153	13,329	13,517	13,693	13,868	14,045
柏中央地域	26,081	26,310	26,538	26,763	26,984	27,210	27,430	27,637	27,839	28,037
富里地域	11,476	11,423	11,375	11,316	11,256	11,204	11,144	11,084	11,022	10,957
新田原地域	9,170	9,140	9,096	9,043	8,993	8,935	8,895	8,838	8,789	8,723
永楽台地域	16,809	16,866	16,914	16,964	16,981	17,001	17,009	17,017	17,010	16,987
光ヶ丘地域	32,423	32,356	32,270	32,172	32,048	31,910	31,759	31,600	31,414	31,218
増尾地域	21,936	21,774	21,607	21,434	21,254	21,058	20,847	20,608	20,365	20,114
鳳早北部地域	25,271	25,195	25,120	25,031	24,939	24,827	24,707	24,557	24,398	24,229
酒井根地域	11,335	11,397	11,448	11,496	11,540	11,571	11,608	11,635	11,658	11,665
南部地域	25,562	25,451	25,327	25,187	25,039	24,875	24,680	24,473	24,246	24,013
藤心地域	13,727	13,676	13,618	13,544	13,476	13,394	13,312	13,216	13,113	13,002
鳳早南部地域	22,577	22,713	22,836	22,946	23,051	23,143	23,220	23,294	23,332	23,363
手賀地域	4,448	4,396	4,336	4,288	4,235	4,173	4,120	4,065	4,005	3,949
計	409,356	411,123	412,814	414,417	415,941	417,364	418,742	420,343	421,011	421,971

2 小学校と中学校の児童生徒数

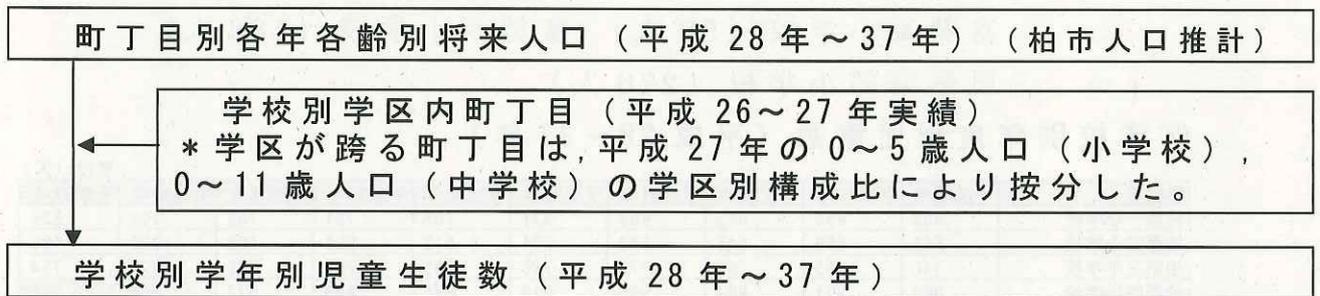
(1) 推計方法

児童生徒数の推計は、「20地域別将来人口推計（平成26年11月作成の推計）」をもとに作成された「町丁目別各年各歳別将来人口（平成28年～37年）」を、下記のフローに従い推計を行った。

(2) 推計手順

「町丁目別各年各歳別将来人口（平成28年～37年）」を各学区別に集計し、「学校別学年別児童生徒数（平成28年～37年）」を推計した。その際、学区が跨る町丁目については、小学校は平成26～27年の0～5歳人口の学区別構成比により、中学校は平成26～27年の0～11歳人口の学区別構成比により、学区ごとに按分した。

(3) 児童・生徒数推計フロー



学校	学年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
1	1	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	2	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	3	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	4	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	6	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	7	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	12	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	13	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	14	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	15	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	16	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	17	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	18	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	19	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	20	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	21	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	22	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	23	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	24	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	25	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	26	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	27	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	28	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	29	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	30	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	31	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	32	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	33	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	34	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	35	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	36	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	37	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	38	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	39	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	40	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	41	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	42	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	43	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	44	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	45	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	46	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	47	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	48	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	49	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	50	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	51	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	52	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	53	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	54	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	55	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	56	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	57	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	58	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	59	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	60	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	61	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	62	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	63	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	64	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	65	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	66	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	67	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	68	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	69	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	70	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	71	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	72	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	73	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	74	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	75	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	76	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	77	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	78	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	79	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	80	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	81	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	82	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	83	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	84	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	85	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	86	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	87	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	88	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	89	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	90	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	91	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	92	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	93	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	94	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	95	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	96	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	97	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	98	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	99	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
1	100	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

① 小学校の将来児童数

小学校毎の将来児童数は、下表のとおりである。

平成 37 年時点で児童数の多い上位 5 校

：田中小学校(1,363 人), 柏の葉小学校 (1,116 人) ,
花野井小学校 (911 人) , 柏第五小学校 (872 人) ,
柏第四小学校 (856 人)

平成 37 年時点で児童数の少ない下位 5 校

：手賀東小学校 (39 人) , 手賀西小学校 (57 人) ,
富勢東小学校 (59 人) , 富勢西小学校 (186 人) ,
風早南部小学校 (270 人)

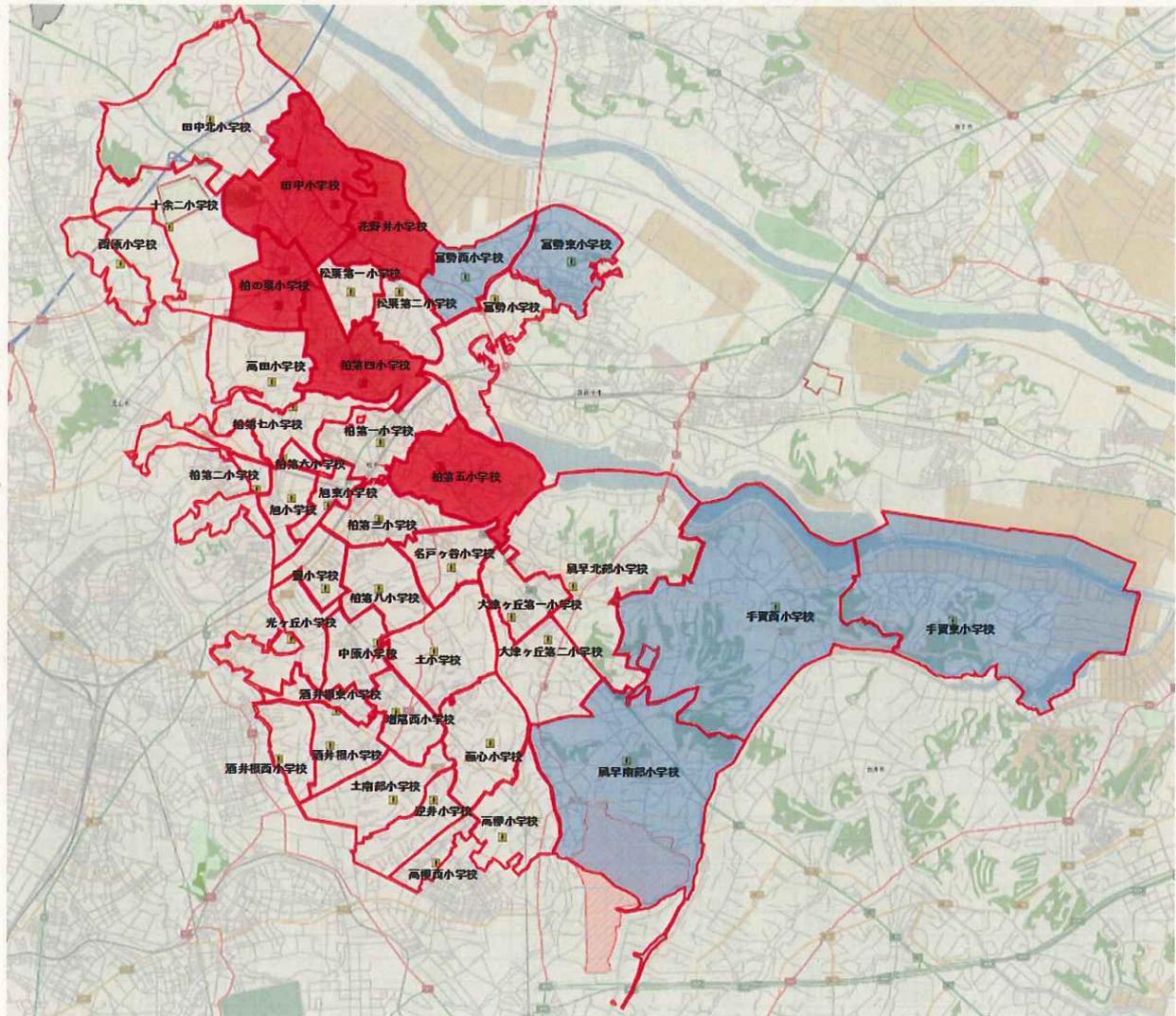
② 学校別年度別児童数 (平成 28～37 年)

単位: (人)

学校名	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
柏第一小学校	668	656	660	652	671	705	731	762	798	826
柏第二小学校	563	559	545	542	531	513	501	492	500	495
柏第三小学校	746	755	761	776	795	785	790	768	771	754
柏第四小学校	903	921	924	925	916	896	888	877	864	856
柏第五小学校	893	893	928	892	883	870	878	871	864	872
柏第六小学校	504	510	517	522	528	522	502	500	498	479
光ヶ丘小学校	743	769	738	765	778	769	761	731	738	721
土小学校	375	367	372	365	358	356	355	352	342	337
富勢小学校	616	604	580	578	533	519	495	469	451	419
田中小学校	717	741	769	848	918	998	1,078	1,185	1,289	1,363
田中北小学校	172	195	217	225	241	254	281	293	301	318
土南部小学校	695	673	631	618	574	538	512	497	493	490
柏第七小学校	690	719	747	757	746	710	697	668	654	636
柏第八小学校	679	686	712	729	720	727	696	680	659	637
酒井根小学校	600	589	576	574	557	552	536	535	527	506
西原小学校	600	584	548	518	487	456	440	421	420	420
旭小学校	528	515	485	487	469	471	459	460	475	468
藤心小学校	451	439	412	386	361	345	324	318	318	313
中原小学校	651	624	601	586	559	550	561	573	572	561
酒井根西小学校	447	433	419	426	418	414	394	402	401	399
高田小学校	609	610	594	594	582	565	546	529	527	515
名戸ヶ谷小学校	363	389	417	414	433	421	412	389	384	378
増尾西小学校	512	518	479	459	456	453	452	442	444	445
逆井小学校	446	439	427	413	386	377	357	334	323	314
富勢東小学校	109	98	91	78	67	62	59	62	58	59
豊小学校	683	693	683	689	670	654	637	620	616	607
酒井根東小学校	415	384	380	370	345	353	331	337	329	326
旭東小学校	299	321	313	323	330	335	347	345	355	364
松葉第一小学校	345	347	351	352	351	344	335	331	314	304
花野井小学校	498	502	495	518	528	595	658	738	828	911
松葉第二小学校	607	604	602	581	555	532	523	515	505	494
富勢西小学校	299	288	281	262	238	219	209	199	189	186
十余二小学校	535	550	548	548	540	555	575	584	604	629
風早南部小学校	358	370	390	386	372	352	320	307	282	270
風早北部小学校	1,089	1,075	1,043	989	904	810	701	649	602	568
手賀西小学校	68	74	74	80	79	76	71	67	61	57
手賀東小学校	43	43	42	42	45	48	45	43	42	39
高柳小学校	713	706	719	704	667	654	651	643	631	632
大津ヶ丘第一小学校	308	288	266	261	250	244	243	253	266	281
大津ヶ丘第二小学校	373	359	342	315	282	270	265	274	281	285
高柳西小学校	409	399	367	338	327	333	314	320	329	344
柏の葉小学校	673	794	900	1,022	1,120	1,146	1,160	1,165	1,151	1,116
計	21,995	22,083	21,946	21,909	21,570	21,348	21,090	21,000	21,056	20,994

大規模校
 小規模校

③ 将来児童数の上位5校, 下位5校 (平成 37 年)



④ 中学校の将来生徒数

中学校毎の将来生徒数は、下表のとおりである。

平成 37 年時点で生徒数の多い上位 5 校

：田中中学校(997 人),松葉中学校 (913 人) ,
 柏第二中学校(867 人),柏第五中学校 (775 人) ,
 酒井根中学校 (673 人)

平成 37 年時点で生徒数の少ない下位 5 校

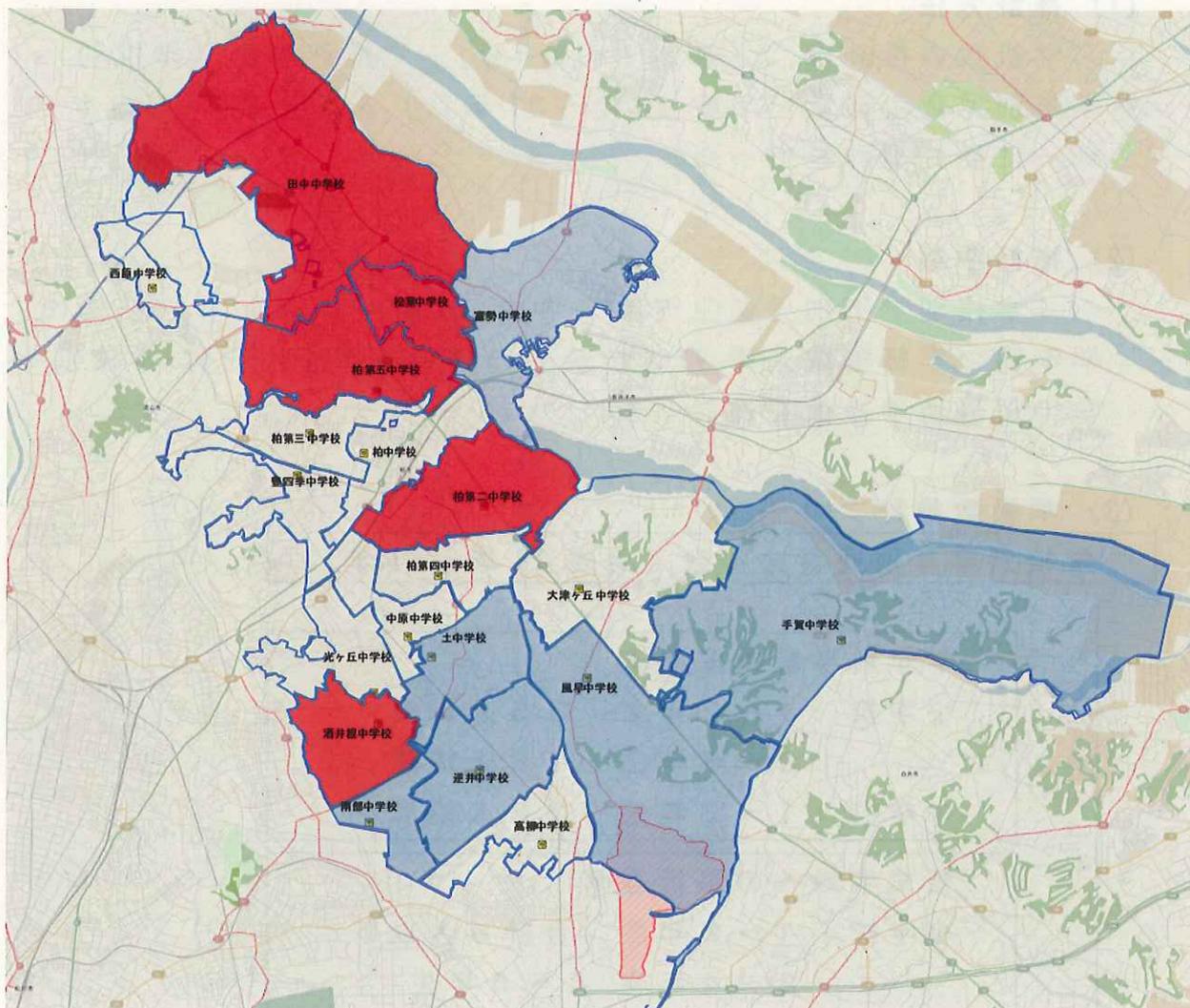
：手賀中学校 (63 人) ,土中学校 (259 人) ,
 風早中学校 (316 人) ,南部中学校 (364 人) ,
 富勢中学校・逆井中学校 (407 人)

⑤ 学校別年度別生徒数 (平成 28～37 年)

学校名	単位:(人)									
	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
柏中学校	554	532	510	496	491	498	498	505	501	501
柏第二中学校	918	856	822	828	824	872	832	865	842	867
土中学校	336	306	294	274	277	262	257	253	256	259
富勢中学校	555	548	518	505	503	490	463	436	416	407
田中中学校	639	651	698	711	752	796	874	913	935	997
光ヶ丘中学校	642	607	622	580	576	554	558	577	557	570
柏第三中学校	524	517	491	532	556	615	632	640	613	613
柏第四中学校	473	469	422	416	401	436	455	481	469	471
南部中学校	541	533	521	473	483	464	469	437	399	364
柏第五中学校	729	731	753	771	812	826	822	805	777	775
酒井根中学校	710	735	766	782	778	723	750	697	716	673
西原中学校	570	560	577	583	580	559	538	541	523	504
逆井中学校	508	515	530	509	512	484	478	458	441	407
松葉中学校	591	562	598	653	737	779	807	820	862	913
中原中学校	554	520	516	501	501	499	516	520	523	508
豊四季中学校	581	591	609	628	625	620	629	627	597	584
風早中学校	344	347	326	348	372	394	391	362	345	316
手賀中学校	73	62	55	53	54	49	57	61	66	63
大津ヶ丘中学校	567	613	668	683	718	729	762	696	624	529
高柳中学校	620	587	602	569	569	554	546	533	526	485
計	11,029	10,842	10,898	10,895	11,121	11,203	11,334	11,227	10,988	10,806

 大規模校
 小規模校

⑥ 将来生徒数の上位5校, 下位5校 (平成 37 年)



3 小学校と中学校の学級数

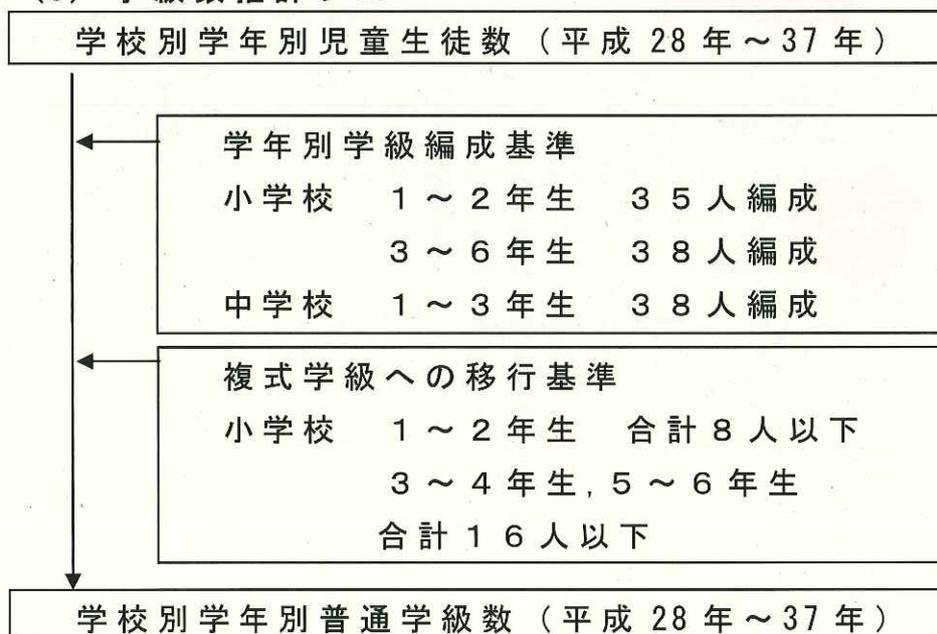
(1) 推計方法

学級数の推計は、「P 2 1 の 2 (3)」で推計した「学校別学年別児童生徒数（平成 28 年～37 年）」をもとに、下記のフローに従い推計を行った。

(2) 推計手順

「学校別学年別児童生徒数（平成 28 年～37 年）」を前提に、学年別の学級編成基準、複式学級への移行基準をもとに、学校別学年別普通学級数を推計した。

(3) 学級数推計フロー



① 小学校の将来学級数

小学校毎の将来普通学級数は、下表のとおりである。

平成 37 年時点で普通学級数の多い上位 5 校

：田中小学校（40 学級）、柏の葉小学校（34 学級）、
花野井小学校（28 学級）、柏第四小学校（27 学級）、
柏第五小学校（26 学級）

平成 37 年時点で普通学級数の少ない下位 5 校

：富勢東小学校・手賀東小学校（5 学級）、富勢西小学校・
手賀西小学校（6 学級）、大津ヶ丘第二小学校（11 学級）

② 学校別年度別将来普通学級数（平成 28～37 年）

単位：(学級)

学校名	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
柏第一小学校	22	21	21	19	20	22	22	24	25	25
柏第二小学校	18	18	18	18	18	17	18	17	18	18
柏第三小学校	24	24	25	25	26	25	24	24	24	24
柏第四小学校	27	28	28	29	28	26	26	27	26	27
柏第五小学校	28	28	28	28	28	27	28	27	26	26
柏第六小学校	17	17	18	18	18	17	18	18	18	18
光ヶ丘小学校	23	24	24	24	23	23	23	23	24	24
土小学校	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
富勢小学校	18	18	18	18	17	17	17	16	14	12
田中小学校	22	23	23	25	27	30	32	34	36	40
田中北小学校	7	7	9	10	11	11	12	12	12	12
土南部小学校	23	22	20	20	19	18	18	18	18	18
柏第七小学校	22	22	23	24	24	24	23	22	21	20
柏第八小学校	20	20	22	22	22	23	22	21	19	19
酒井根小学校	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
西原小学校	18	18	18	17	16	15	15	14	13	12
旭小学校	18	18	17	17	17	17	16	16	17	17
藤心小学校	15	15	13	13	12	12	12	12	12	12
中原小学校	21	20	18	18	18	18	18	18	18	18
酒井根西小学校	15	14	13	13	13	13	12	12	12	12
高田小学校	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
名戸ヶ谷小学校	12	13	14	14	13	13	13	12	12	12
増尾西小学校	18	18	18	16	15	15	15	15	16	15
逆井小学校	16	16	14	13	12	12	12	12	12	12
富勢東小学校	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
豊小学校	21	21	22	23	21	20	19	18	18	18
酒井根東小学校	14	13	13	13	13	13	12	12	12	12
旭東小学校	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
松葉第一小学校	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
花野井小学校	17	17	17	18	18	20	22	23	26	28
松葉第二小学校	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18
富勢西小学校	12	12	12	12	10	9	7	6	6	6
十余二小学校	18	18	18	18	18	18	18	20	20	20
風早南部小学校	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12
風早北部小学校	33	32	31	29	27	25	22	21	20	19
手賀西小学校	5	6	5	6	6	6	6	6	6	6
手賀東小学校	5	4	5	4	4	4	5	5	5	5
高柳小学校	23	23	23	23	22	21	22	21	20	20
大津ヶ丘第一小学校	11	12	10	10	10	10	10	10	11	12
大津ヶ丘第二小学校	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11
高柳西小学校	14	14	13	13	13	13	12	12	12	12
柏の葉小学校	21	24	27	31	34	34	34	34	34	34
計	720	721	718	721	712	707	703	700	701	703

注：平成 37 年時点で複式学級となる学校＝富勢東小学校，手賀東小学校
 大規模校 小規模校

④ 中学校の将来学級数

中学校毎の将来普通学級数は、下表のとおりである。

平成 37 年時点で普通学級数の多い上位 5 校

：田中中学校（28 学級）、松葉中学校（26 学級）、
 柏第二中学校（24 学級）、柏第五中学校（22 学級）、
 酒井根中学校（20 学級）

平成 37 年時点で普通学級数の少ない下位 5 校

：手賀中学校（3 学級）、土中学校・風早中学校（9 学級）、
 南部中学校（11 学級）、富勢中学校（12 学級）

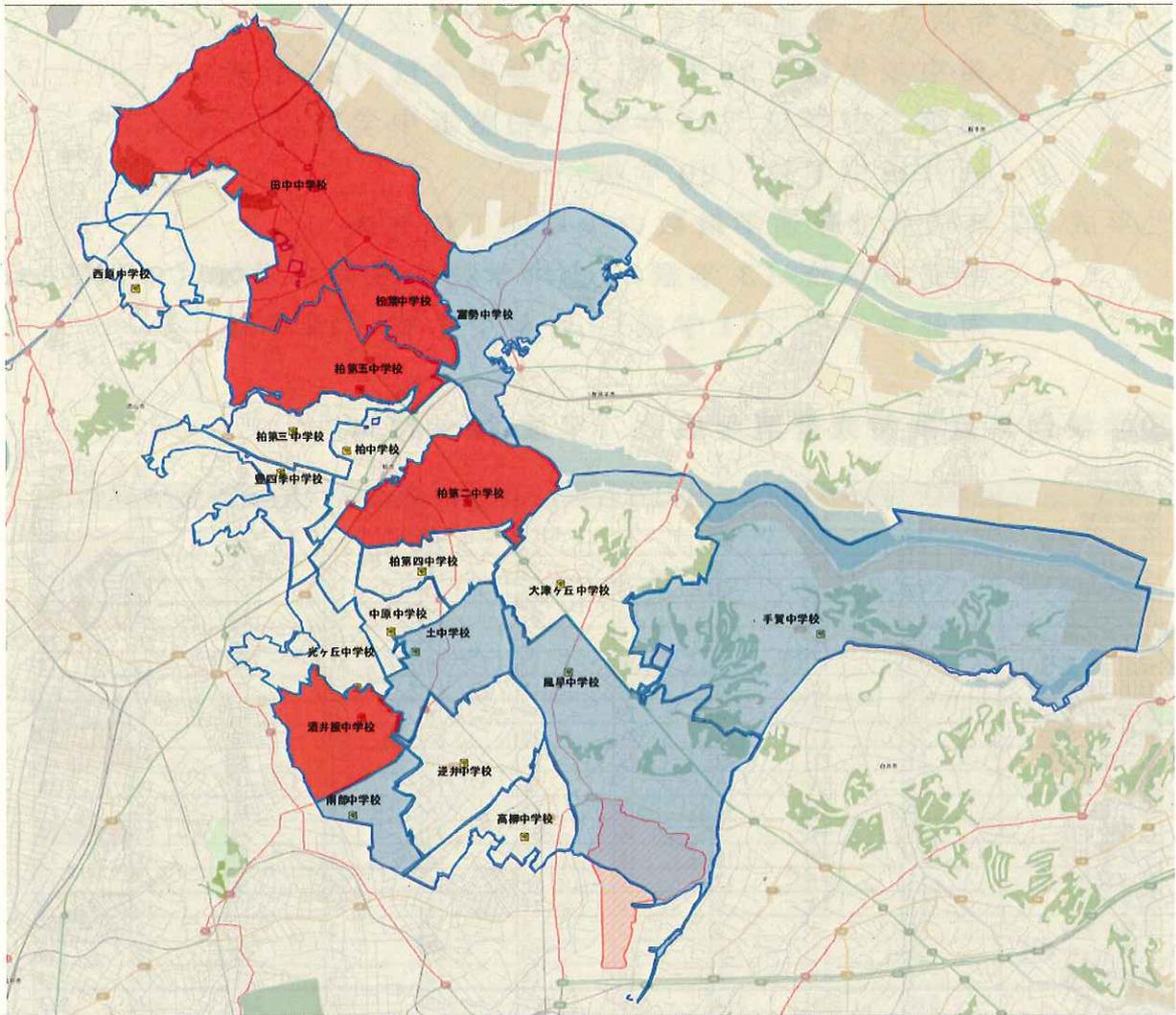
⑤ 学校別年度別将来普通学級数（平成 28～37 年）

単位：(学級)

学校名	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
柏中学校	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
柏第二中学校	26	24	24	24	23	24	23	23	23	24
土中学校	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9
富勢中学校	16	15	15	15	15	14	13	12	12	12
田中中学校	18	18	19	20	21	22	25	26	26	28
光ヶ丘中学校	18	18	18	17	16	16	16	17	16	16
柏第三中学校	14	14	14	16	17	18	18	18	18	18
柏第四中学校	14	13	12	13	12	13	14	15	14	14
南部中学校	15	15	15	14	14	14	13	13	12	11
柏第五中学校	21	21	21	21	22	23	23	22	21	22
酒井根中学校	21	21	22	22	22	20	21	20	21	20
西原中学校	16	15	16	17	17	16	15	15	15	15
逆井中学校	15	15	15	15	15	14	14	13	13	13
松葉中学校	17	16	17	18	21	23	24	24	25	26
中原中学校	16	15	15	15	15	15	16	16	15	15
豊四季中学校	17	17	17	18	18	18	18	18	17	17
風早中学校	10	10	9	10	11	12	12	11	10	9
手賀中学校	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
大津ヶ丘中学校	16	17	20	20	20	20	21	20	18	16
高柳中学校	17	17	16	16	16	16	15	15	15	14
計	316	309	312	318	322	325	328	325	318	317

 大規模校
 小規模校

⑥ 将来普通学級数の上位5校, 下位5校 (平成 37 年)



上位 5 校
 下位 5 校

第Ⅳ部 文部科学省が策定した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を参考に学級数から判断する大規模校・小規模校への対応方針

1 小学校（平成37年時点学級数推計）

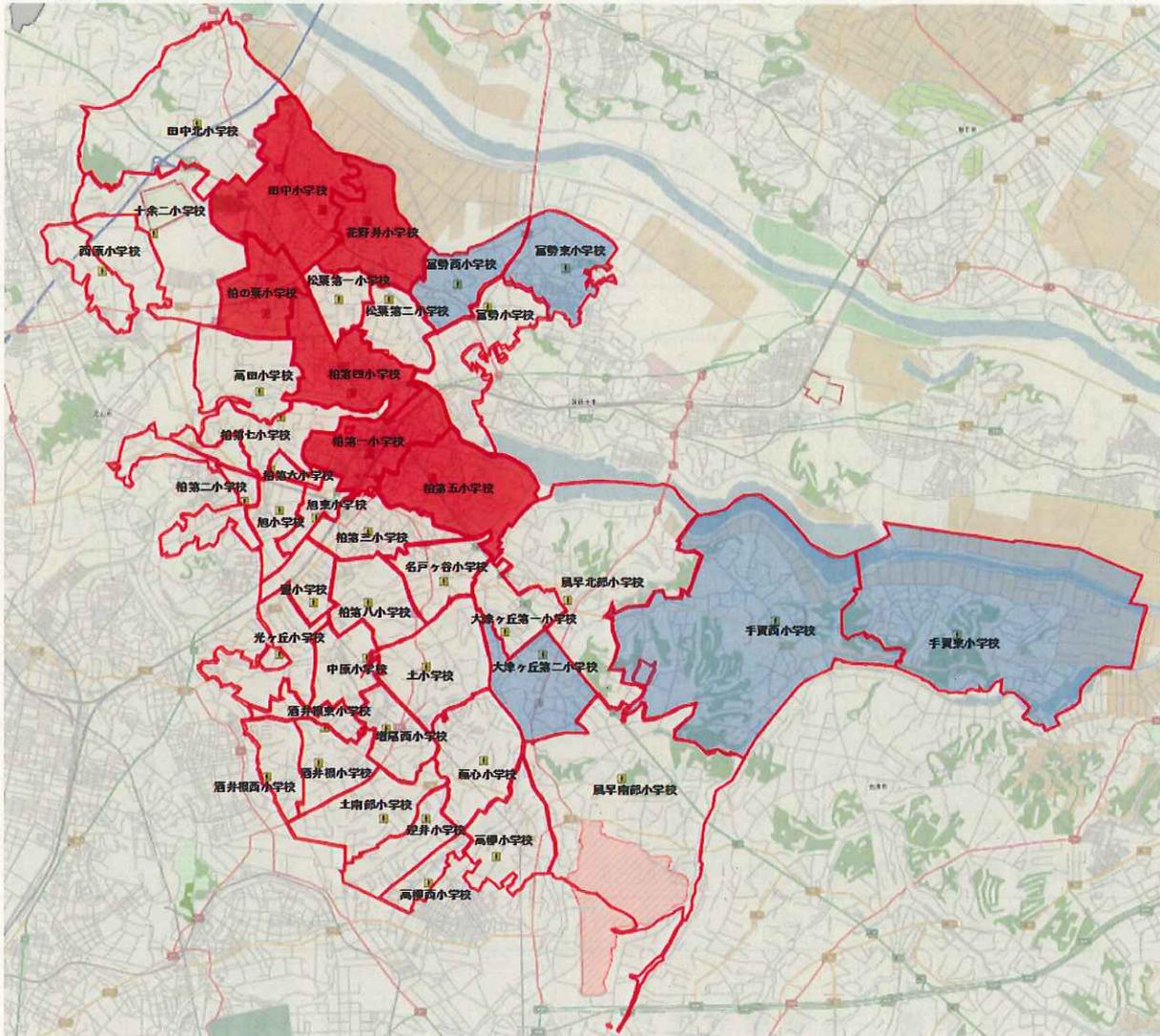
(1) 学校の普通学級数の推移（将来：平成28年～37年）※特別支援学級は除く

学級数	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年	
40										田中小	
39											
38											
37											
36									田中小		
35											
34					柏の葉小	柏の葉小	柏の葉小	田中小 柏の葉小	柏の葉小	柏の葉小	
33	鳳早北小										
32		鳳早北小					田中小				
31			鳳早北小	柏の葉小							
30						田中小					
29				柏四小 鳳早北小							
28	柏五小	柏四小 柏五小	柏四小 柏五小	柏四小 柏五小	柏四小 柏五小		柏五小			花野井小	
27	柏四小		柏の葉小		田中小 鳳早北小 柏三小	柏五小		柏五小		柏四小	
26						柏四小	柏四小		柏四小 柏五小 花野井小 柏一小	柏五小	
25			柏三小	柏三小 田中小		柏三小 田中小				柏一小	
24	柏三小	柏三小 光ヶ丘小 柏の葉小	光ヶ丘小	光ヶ丘小 柏七小	柏七小	柏七小	柏三小	柏一小 柏三小	柏三小 光ヶ丘小	柏三小 光ヶ丘小	
23	光ヶ丘小 土南部小 高柳小	田中小 高柳小	田中小 柏七小 高柳小	豊小 高柳小	光ヶ丘小	光ヶ丘小 柏八小	光ヶ丘小 柏七小	光ヶ丘小 花野井小			
22	柏一小 田中小 柏七小	土南部小 柏七小	柏八小 豊小	柏八小	柏八小 高柳小	柏一小	柏一小 柏八小 花野井小 鳳早北小 高柳小	柏七小			
21	中原小 豊小 柏の葉小	柏一小 豊小	柏一小		豊小	高柳小		柏八小 鳳早北小 高柳小	柏七小		
20	柏八小	柏八小 中原小	土南部小	土南部小	柏一小	豊小 花野井小		十余二小 高柳小	十余二小 高柳小 柏八小	柏七小 十余二小 高柳小 柏八小	
19	松葉二小			柏一小	土南部小		豊小			鳳早北小 柏二小 土南部小 土南部小 土南部小 高柳小 柏八小	
18	柏二小 富勢小 酒井根小 西原小 旭小 高田小 増尾西小 逆井小 十余二小	柏二小 富勢小 酒井根小 西原小 旭小 高田小 増尾西小 逆井小 十余二小	柏二小 柏六小 富勢小 酒井根小 西原小 旭小 高田小 増尾西小 逆井小 十余二小	柏二小 柏六小 富勢小 酒井根小 西原小 旭小 高田小 花野井小 松葉二小 十余二小	柏二小 柏六小 富勢小 酒井根小 西原小 旭小 高田小 花野井小 松葉二小 十余二小	柏二小 柏六小 富勢小 酒井根小 西原小 旭小 高田小 松葉二小 十余二小	柏二小 土南部小 酒井根小 中原小 高田小 松葉二小 十余二小	柏六小 土南部小 酒井根小 中原小 高田小 豊小 松葉二小 十余二小	柏二小 柏六小 土南部小 酒井根小 中原小 高田小 豊小 松葉二小 十余二小	柏二小 柏六小 土南部小 酒井根小 中原小 高田小 豊小 松葉二小 十余二小	柏二小 柏六小 土南部小 酒井根小 中原小 高田小 豊小 松葉二小 十余二小
17	柏六小 花野井小	柏六小 花野井小	旭小 花野井小	西原小 旭小	柏六小 富勢小 旭小	柏二小 富勢小 旭小	富勢小	柏二小	旭小	旭小	
16				増尾西小	西原小		旭小	富勢小 旭小	増尾西小		
15	藤心小 酒井根西小 酒井根東小 高柳西小 鳳早南小	藤心小			増尾西小	西原小 増尾西小	西原小 増尾西小	増尾西小		増尾西小	
14		酒井根西小 高柳西小 名土ヶ谷小 酒井根東小 鳳早南小	名土ヶ谷小 逆井小 藤心小 酒井根東小 高柳西小	名土ヶ谷小				西原小	富勢小		
13				藤心小 酒井根西小 逆井小 酒井根東小 高柳西小	酒井根西小 名土ヶ谷小 酒井根東小 高柳西小	酒井根西小 名土ヶ谷小 酒井根東小 高柳西小	名土ヶ谷小		西原小		
12	土小 名土ヶ谷小 旭東小 松葉一小 富勢西小 大津二小	土小 旭東小 松葉一小 富勢西小 大津二小	土小 旭東小 松葉一小 富勢西小 鳳早南小 大津二小	土小 旭東小 松葉一小 富勢西小 鳳早南小 大津二小	土小 藤心小 逆井小 旭東小 松葉一小 鳳早南小	土小 藤心小 逆井小 旭東小 松葉一小 鳳早南小	土小 田中北小 藤心小 酒井根西小 名土ヶ谷小 逆井小 酒井根東小 旭東小 松葉一小 鳳早南小 高柳西小	土小 田中北小 藤心小 酒井根西小 名土ヶ谷小 逆井小 酒井根東小 旭東小 松葉一小 鳳早南小 高柳西小	土小 田中北小 藤心小 酒井根西小 名土ヶ谷小 逆井小 酒井根東小 旭東小 松葉一小 鳳早南小 高柳西小	土小 富勢小 田中北小 西原小 藤心小 酒井根西小 名土ヶ谷小 逆井小 酒井根東小 旭東小 松葉一小 鳳早南小 大津二小 高柳西小	
11	大津一小				田中北小 大津二小 大津一小	田中北小 大津二小 大津一小	大津二小	大津二小	大津二小	大津二小	
10			大津一小	田中北小 大津一小			大津一小	大津一小			
9			田中北小			富勢西小					
8											
7	田中北小 富勢東小	田中北小 富勢東小 手賀西小	富勢東小	富勢東小 手賀西小	富勢東小 手賀西小	富勢東小 手賀西小	富勢西小 手賀西小	富勢西小 手賀西小	富勢西小 手賀西小	富勢西小 手賀西小	
6											
5	手賀西小 手賀東小	手賀東小	手賀西小	手賀東小	手賀東小	手賀東小	富勢東小 手賀東小	富勢東小 手賀東小	富勢東小 手賀東小	富勢東小 手賀東小	
4											
3											
2											
1											
学級数計	720	721	718	721	712	707	703	700	701	703	

(2) 学校規模の適正化の見通し（小学校）

区分	平成 27 年（現状）	平成 37 年（将来）
大規模校 (25 学級以上)	3 校 柏第三小学校, 柏第五小学校, 風早北部小学校	6 校 柏第一小学校, 柏第四小学校, 柏第五小学校, 田中小学校, 花野井小学校, 柏の葉小学校
適正規模校 (12~24 学級)	33 校 柏第一小学校, 柏第二小学校, 柏第四小学校, 柏第六小学校, 光ヶ丘小学校, 土小学校, 富勢小学校, 田中小学校, 土南部小学校, 柏第七小学校, 柏第八小学校, 酒井根小学校, 西原小学校, 旭小学校, 藤心小学校, 中原小学校, 酒井根西小学校, 高田小学校, 増尾西小学校, 逆井小学校, 豊小学校, 酒井根東小学校, 旭東小学校, 松葉第一小学校, 花野井小学校, 松葉第二小学校, 十余二小学校, 風早南部小学校, 高柳小学校, 大津ヶ丘第一小学校, 大津ヶ丘第二小学校, 高柳西小学校, 柏の葉小学校	31 校 柏第二小学校, 柏第三小学校, 柏第六小学校, 光ヶ丘小学校, 土小学校, 富勢小学校, 田中北小学校, 土南部小学校, 柏第七小学校, 柏第八小学校, 酒井根小学校, 西原小学校, 旭小学校, 藤心小学校, 中原小学校, 酒井根西小学校, 高田小学校, 名戸ヶ谷小学校, 増尾西小学校, 逆井小学校, 豊小学校, 酒井根東小学校, 旭東小学校, 松葉第一小学校, 松葉第二小学校, 十余二小学校, 風早南部小学校, 風早北部小学校, 大津ヶ丘第一小学校, 高柳小学校, 高柳西小学校
小規模校 (11 学級以下)	6 校 田中北小学校, 名戸ヶ谷小学校, 富勢東小学校, 富勢西小学校, 手賀西小学校, 手賀東小学校	5 校 富勢東小学校, 富勢西小学校, 手賀西小学校, 手賀東小学校, 大津ヶ丘第二小学校

(3) 将来小学校の大規模校、小規模校の分布（平成 37 年）



大規模校
 小規模校

①【1～5学級：複式学級が存在する規模】

おおむね、複式学級が存在する学校規模。一般に教育上の課題が極めて大きいため、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。

地理的条件等により統合困難な事情がある場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策や緩和策を積極的に検討・実施する必要がある。

・富勢東小学校：5	・手賀東小学校：5
-----------	-----------

②【6学級：クラス替えができない規模】

おおむね、複式学級はないがクラス替えができない学校規模。

一般に教育上の課題があるが、学校全体及び各学年の児童数に大きな幅があり、児童数が少ない場合は特に課題が大きい。

このため児童数の状況や、更なる小規模化の可能性、将来的に複式学級が発生する可能性も勘案し、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。

地理的条件等により統合困難な事情がある場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策や緩和策を積極的に検討・実施する必要がある。

・富勢西小学校：6	・手賀西小学校：6
-----------	-----------

③【7～8学級：全学年ではクラス替えができない規模】

おおむね、一つ又は二つの学年以外でのクラス替えができない学校規模。学校全体及び各学年の児童数も勘案し、教育上の課題を整理した上で、学校統合の適否も含め今後の教育環境の在り方を検討することが必要である。今後の児童数の予測を踏まえ、将来的に複式学級が発生する可能性が高ければ、6学級の場合に準じて、速やかな検討が必要である。

・該当校なし

④【9～11学級：半分以上の学年でクラス替えができる規模】

おおむね、全学年でのクラス替えはできないものの半分以上の学年でクラス替えができる学校規模。学校全体及び各学年の児童数も勘案し、教育上の課題を整理した上で、児童数予測等を加味して今後の教育環境の在り方を検討することが必要である。

・ 大津ヶ丘第二小学校：11

⑤【25学級以上：適正規模の上限24学級を上回る規模】

「3 学校の適正規模・適正配置の実現に向けた対応策」を参考に児童数予測等を加味して、今後の教育環境の在り方を検討することが必要である。

・ 田中小学校：40	・ 柏の葉小学校：34	・ 花野井小学校：28
・ 柏第四小学校：27	・ 柏第五小学校：26	・ 柏第一小学校：25

2 中学校（平成37年時点学級数推計）

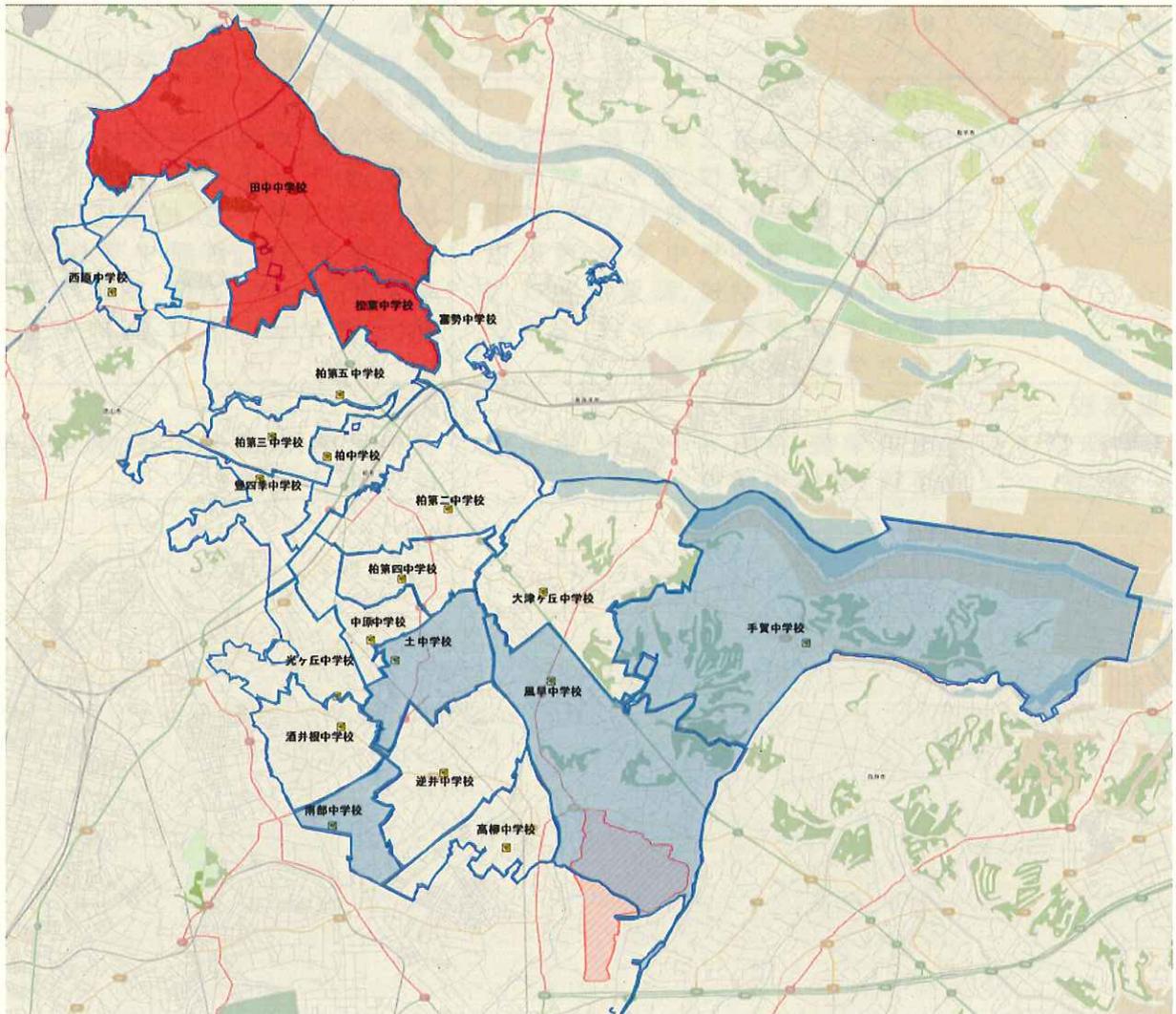
(1) 学校の普通学級数の推移（将来：平成28年～37年）※特別支援学級は除く

学級数	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
28										田中中
27										
26	柏二中							田中中	田中中	松葉中
25							田中中		松葉中	
24		柏二中	柏二中	柏二中		柏二中	松葉中	松葉中		柏二中
23					柏二中	柏五中 松葉中	柏二中 柏五中	柏二中	柏二中	
22			酒井根中	酒井根中	柏五中 酒井根中	田中中		柏五中		柏五中
21	柏五中 酒井根中	柏五中 酒井根中	柏五中	柏五中	田中中 松葉中		酒井根中 大津中		柏五中 酒井根中	
20			大津中	田中中 大津中	大津中	酒井根中 大津中		酒井根中 大津中		酒井根中
19			田中中							
18	田中中 光ヶ丘中	田中中 光ヶ丘中	光ヶ丘中	松葉中 豊四季中	豊四季中	柏三中 豊四季中	柏三中 豊四季中	柏三中 豊四季中	柏三中 大津中	柏三中
17	松葉中 豊四季中 高柳中	豊四季中 大津中 高柳中	松葉中 豊四季中	光ヶ丘中 西原中	柏三中 西原中			光ヶ丘中	豊四季中	豊四季中
16	富勢中 西原中 中原中 大津中	松葉中	西原中 高柳中	柏三中 高柳中	光ヶ丘中 高柳中	光ヶ丘中 西原中 高柳中	光ヶ丘中 中原中	中原中	光ヶ丘中	光ヶ丘中 大津中
15	柏中 南部中 逆井中	柏中 富勢中 南部中 西原中 逆井中 中原中	柏中 富勢中 南部中 逆井中 中原中	柏中 富勢中 逆井中 中原中	柏中 富勢中 逆井中 中原中	柏中 中原中	柏中 西原中 高柳中	柏中 柏四中 西原中 高柳中	柏中 西原中 中原中 高柳中	柏中 西原中 中原中
14	柏三中 柏四中	柏三中	柏三中	南部中	南部中	富勢中 南部中 逆井中 柏四中	柏四中 逆井中		柏四中	柏四中 高柳中
13		柏四中		柏四中			富勢中 南部中 逆井中	南部中 逆井中	逆井中	松葉中
12			柏四中		柏四中	風早中	風早中	富勢中	富勢中 南部中	富勢中
11	土中				風早中			風早中		南部中
10	風早中	土中 風早中		風早中					風早中	
9			土中 風早中	土中	土中	土中	土中	土中	土中	土中 風早中
8										
7										
6										
5										
4										
3	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中	手賀中
学級数計	316	309	312	318	322	325	328	325	318	317

(2) 学校規模の適正化の見通し（中学校）

区分	平成 27 年（現状）	平成 37 年（将来）
大規模校 (25 学級以上)	0 校	2 校 田中中学校, 松葉中学校
適正規模校 (12～24 学級)	16 校 柏中学校, 柏第二中学校, 富勢中学校, 田中中学校, 光ヶ丘中学校, 柏第四中学校, 南部中学校, 柏第五中学校, 酒井根中学校, 西原中学校, 逆井中学校, 松葉中学校, 中原中学校, 豊四季中学校, 大津ヶ丘中学校, 高柳中学校	14 校 柏中学校, 柏第二中学校, 富勢中学校, 光ヶ丘中学校, 柏第三中学校, 柏第四中学校, 柏第五中学校, 酒井根中学校, 西原中学校, 逆井中学校, 中原中学校, 豊四季中学校, 大津ヶ丘中学校, 高柳中学校
小規模校 (11 学級以下)	4 校 土中学校, 柏第三中学校, 風早中学校, 手賀中学校	4 校 土中学校, 南部中学校, 風早中学校, 手賀中学校

(3) 将来中学校の大規模校,小規模校の分布 (平成 37 年)



- 大規模校
- 小規模校

①【1～2学級：複式学級が存在する規模】

おおむね、複式学級が存在する学校規模。学校全体の生徒数や指導方法等にもよるが、一般に教育上の課題が極めて大きいため、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。

地理的条件等により統合困難な事情がある場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策や緩和策を積極的に検討・実施する必要がある。

・該当校なし

②【3学級：クラス替えができない規模】

おおむね、複式学級はないがクラス替えができない学校規模。一般に教育上の課題があるが、学校全体及び各学年の生徒数に大きな幅があり、生徒数が少ない場合は特に課題が大きい。

このため、生徒数の状況や、更なる小規模化の可能性、将来的に複式学級が発生する可能性も勘案し、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある。

地理的条件等により統合困難な事情がある場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策や代替策を積極的に検討・実施する必要がある。

・手賀中学校：3

③【4～5学級：全学年ではクラス替えができる学年が少ない規模】

おおむね、一つ又は二つの学年以外でのクラス替えができない学校規模。学校全体及び各学年の生徒数も勘案し、教育上の課題を整理した上で、学校統合の適否も含め今後の教育環境の在り方を検討することが必要である。

今後の生徒数の予測等を踏まえ、将来的に複式学級が発生する可能性が高ければ、3学級の場合に準じて、速やかな検討が必要である。

・該当校なし

④【6～8学級：全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模】

おおむね、全学年でのクラス替えができ、同学年に複数の教員を配置することができる学校規模。

学校全体及び各学年の生徒数も勘案し、学校規模が十分でないことによる教育上の課題を整理した上で、生徒数予測等を加味して今後の教育環境の在り方を検討することが必要である。

・該当校なし

⑤【9～11学級：全学年でクラス替えができ、同学年で複数教員配置や、免許外指導の解消が可能な規模】

標準には満たないものの、おおむね全学年でのクラス替えができ同学年に複数の教員を配置したり、免許外指導を解消したりすることが可能な学校規模。

教育上の課題が生じているかを確認した上で、生徒数予測等を加味して今後の教育環境の在り方を検討することが必要である。

・土中学校：9

・風早中学校：9

・南部中学校：11

⑥【25学級以上：適正規模の上限24学級を上回る規模】

「3 学校の適正規模・適正配置の実現に向けた対応策」を参考に生徒数予測等を加味して、今後の教育環境の在り方を検討することが必要である。

・田中中学校：28

・松葉中学校：26

第V部 対象とする学校・地域

1 適正配置を速やかに検討する学校（平成37年時点学級数推計）

	学校数	適正配置対象校
小規模校 小学校：1～5学級	小学校2校	富勢東小学校：5 手賀東小学校：5
小学校：6学級	小学校2校	富勢西小学校，手賀西小学校
中学校：1～2学級	中学校0校	該当なし
中学校：3学級	中学校1校	手賀中学校：3

2 学校規模を注視し，教育上の課題が生じている場合には， 適正配置を検討する学校（平成37年時点学級数推計）

	学校数	適正配置対象校
小規模校 小学校：7～8学級	小学校0校	該当校なし
小学校：9～11学級	小学校1校	大津ヶ丘第二小学校：11
大規模校 小学校：25学級以上	小学校6校	田中小学校：40 柏の葉小学校：34 花野井小学校：28 柏第四小学校：27 柏第五小学校：26 柏第一小学校：25
小規模校 中学校：4～5学級	中学校0校	該当校なし
中学校：6～8学級	中学校0校	該当校なし
中学校：9～11学級	中学校3校	土中学校：9 風早中学校：9 南部中学校：11
大規模校 中学校：25学級以上	中学校2校	田中中学校：28 松葉中学校：26

3 現在の状況と今後の方針

No.	対象	現在の状況と今後の方針
1	富勢地域	<p>富勢地域は、小規模校の富勢東小学校、富勢西小学校と適正規模の富勢小学校が隣接している。特に富勢東小学校は通学区域の多くが市街化調整区域で児童が増加する可能性が低く、教育環境が悪化することが懸念される。そのため、統合等抜本的な対応も含め検討を行い、学校の適正規模を図ることを目指す。</p>
2	手賀地域	<p>手賀地域は、小学校2校、中学校1校、それぞれ単学級となっており、児童生徒数の減少が続いている。「小規模校の良さを生かして欲しい」という意見も寄せられており、これまで様々な対策を講じてきたが、このまま減少が続くと教育活動に大きな影響が発生すると思われる。</p> <p>そのため、統合等抜本的な対応も含め検討を行い、学校の適正規模を図ることを目指す。</p>
3	北部地域	<p>北部地域は、区画整理事業により人口の増加が見込まれる田中小学校や、隣接する花野井小学校も大規模化が見込まれている。</p> <p>区画整理事業により新たなまちに生まれ変わり、田中小学校の通学区域は道路や鉄道が新たに敷設され通学環境が大きく変化した。また、田中北小学校や田中小学校の通学区域の境界は大字で分かれているが、新たに敷設された道路との相違が発生している。</p> <p>そのため、田中北小学校と田中小学校、花野井小学校の将来的な学校規模を見据え、併せて柏北部東地区に新設予定の小学校設置についても慎重に判断した上で、田中地域全体の通学区域再編の中で検討し対応する。</p>

4	大規模校	<p>柏第一小学校，柏第四小学校，柏第五小学校については，大規模校となっている。特に柏駅周辺の学校は校地の購入を前提とした分離新設や，周辺校も児童の受け入れに余裕が無いため通学区域の変更も困難である。</p> <p>そのため，教室不足が発生する場合は，仮設校舎を建設し児童を受け入れつつ減少傾向になることで，学校の適正規模を図ることを目指す。</p> <p>柏の葉小学校は，小中連携教育の新たな環境として隣接地に建設される新設中学校の教室を利用することや，仮設校舎の建設により児童を受け入れつつ減少傾向になることで，学校の適正規模を図ることを目指す。</p>
5	その他	<p>進学する中学校が2校以上に分かれる小学校についてはあまり好ましい状況とはいえない。また，大字や町会等コミュニティと相違している学校等，通学区域が複雑化している学校がある。</p> <p>しかし，町会等の境界で通学区域が分かれていたり，現在の住居表示が設定される前に，既に通学区域が決定していたりする場合もある。このように様々な経緯があって現在の通学区域が決定されている。</p> <p>そのため，現在の通学区域により不都合が生じている場合は，学校や保護者，町会等地域の方の意見を伺いながら通学区域の変更を行い解消を目指す。</p>

参考資料

◎文部科学省等の動き

文部科学省では、平成27年1月「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を策定した。

これは、日本全体の問題である少子高齢化を見据え、少子化に対応した活力ある学校づくりを目指すものである。

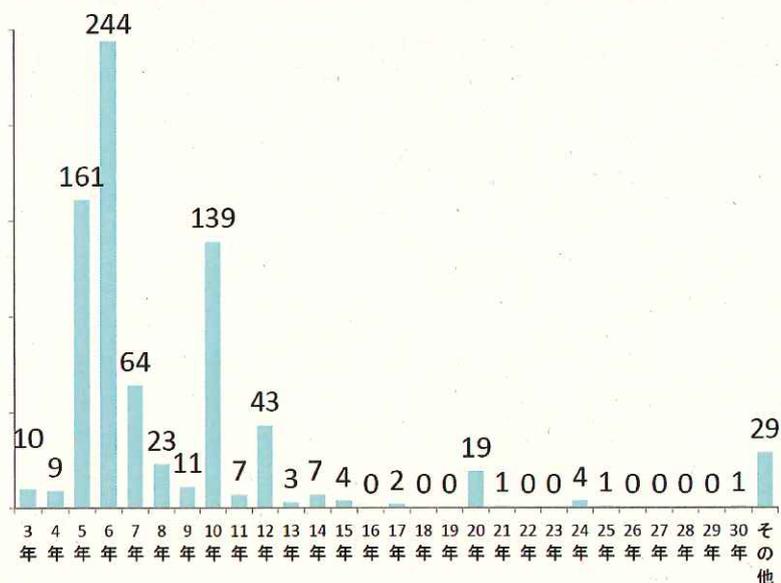
この10年で既に小・中学校の1割にあたる3,000校超が統合されているが、標準規模に満たない学校が約半数存在している。本来学校は、集団の中で切磋琢磨しながら学習したり、社会性を高めるといった学校の特質に照らし、一定の規模を確保することが望ましいと考えられる。

この手引が策定される経緯として、政府が、教育再生実行会議を設置し、「国は学校規模の適正化に向けて指針を示すとともに、地域の実情を適切に踏まえた学校統廃合に対し、教職員配置や施設整備などの財政的な支援において十分配慮を行う」との第五次提言が示されたことにより、文部科学省が策定したものである。

◎文部科学省が実施した市町村へのアンケート一部抜粋

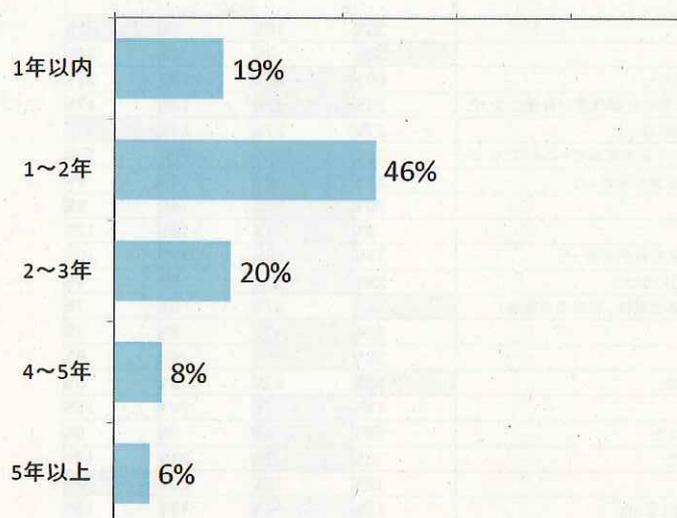
学校規模の適正化及び少子化に対応した学校教育の充実策に関する実態調査について

何年先までの児童生徒推計や人口推計に基づき結論を出したか



N=782(過去3年間の統合実施件数)

統合の結論が出てから実際の統合まで要した時間



N=782(過去3年間の統合実施件数)

学校統合による成果1

<児童生徒への直接的な効果>	1当てはまる			
	2どちらかといえは当てはまる	3どちらかといえは当てはまらない	4当てはまらない	
① 良い意味での競い合いが生まれた	44%	45%	8%	4%
② 向上心が高まった	24%	64%	7%	5%
③ 学力が向上した	8%	54%	29%	9%
④ 学習意欲が向上した	13%	65%	15%	6%
⑤ 友人が増えた	66%	30%	2%	3%
⑥ 男女比の偏りが少なくなった	28%	37%	19%	16%
⑦ 以前よりもたくましくなった	12%	59%	19%	11%
⑧ 教師に対する依存心が減った	8%	51%	28%	13%
⑨ 不登校が減少した	5%	24%	36%	35%
⑩ いじめが減少した	4%	27%	36%	33%
⑪ 多様な意見に触れる機会が増えた	55%	40%	3%	3%
⑫ 異年齢交流が増えた	23%	35%	29%	12%
⑬ 集団遊びが成立するようになった	37%	43%	13%	7%
⑭ 業間や放課後での外遊びが増えた	14%	42%	30%	15%
⑮ 社会性・コミュニケーション能力が向上した	20%	65%	10%	5%
⑯ 集団規模の確保により上級学校への進学に伴うギャップが緩和された	16%	48%	23%	14%
⑰ 集団規模が確保され、多様な進路が意識されるようになった	8%	45%	31%	16%
⑱ 学校が楽しいと答える子供が増えた	22%	58%	13%	7%
⑲ その他	23%	8%	12%	57%

N=782(過去3年間の統合実施件数)

学校統合による成果2

＜教育活動／指導体制・指導方法に与えた効果＞	1当てはまる	2どちらかといえば当てはまる	3どちらかといえば当てはまらない	4当てはまらない
⑳ クラス替えが可能になった	38%	13%	6%	42%
㉑ 複式学級が解消された	55%	7%	4%	34%
㉒ 学級間で良い意味の競争心が生まれた	26%	39%	13%	22%
㉓ 少人数指導や習熟度別指導など多様な指導形態が可能になった	23%	41%	19%	17%
㉔ 同学年に複数教員を配置できるようになった	27%	27%	14%	32%
㉕ より多くの教職員が多面的な観点で子供を指導できるようになった	32%	47%	12%	10%
㉖ 教職員間で協力して指導にあたる意識が高まった	25%	52%	14%	9%
㉗ 校内研修が活性化した	20%	57%	14%	9%
㉘ 教員の指導力が向上した	9%	61%	18%	12%
㉙ 教職員間で互いの良さを取り入れる意識が高まった	16%	62%	12%	10%
㉚ 授業で多様な意見を引き出せるようになった	28%	56%	8%	7%
㉛ 集団教育活動が充実した(体育の集団競技、音楽の合唱等)	51%	37%	5%	7%
㉜ グループ学習が充実した	32%	53%	8%	7%
㉝ 班活動が活性化した	28%	55%	9%	8%
㉞ 運動会などの学校行事が活性化した	46%	43%	5%	5%
㉟ 特別支援教育が充実した	14%	47%	24%	16%
㊱ クラブ活動・部活動が充実・活性化した	39%	44%	8%	9%
㊲ 校区拡大により地域学習が充実した	15%	41%	31%	13%
㊳ 免許外指導が解消又は減少した	12%	18%	20%	50%
㊴ バランスの取れた教員配置が可能になった	15%	50%	19%	15%
㊵ 施設設備が改善され教育活動が展開しやすくなった	23%	38%	21%	18%
㊶ 教材・教具が量的に充実した	28%	45%	16%	11%
㊷ その他	12%	4%	11%	73%

N=782(過去3年間の統合実施件数)

学校統合による成果3

＜その他＞	1当てはまる	2どちらかといえば当てはまる	3どちらかといえば当てはまらない	4当てはまらない
㊸ PTA活動が活性化した	15%	50%	28%	8%
㊹ 保護者同士の交流関係が広がった	24%	55%	15%	6%
㊺ 学校と地域との連携協働関係が強化された	13%	44%	32%	11%
㊻ 校務の分担・効率化が進んだ	15%	52%	21%	12%
㊼ 廃校施設・跡地の有効活用により地域の魅力が高まった	5%	14%	39%	42%
㊽ 教育予算の効果的活用が進んだ	9%	41%	28%	22%
㊾ 子供会活動が活性化した	3%	18%	49%	30%
㊿ 少年団活動が活性化した	4%	24%	38%	34%
51 その他	5%	8%	12%	74%

N=782(過去3年間の統合実施件数)

学校統合に際して生じる課題1

＜児童生徒への直接的な効果＞	課題である	課題であるが一定の改善がみられた	課題であるが解消される見込み	課題であったが解消された	課題と認識していない
① スクールバス通学による体力の低下	26%	12%	12%	13%	37%
② スクールバス通学による肥満の増加	15%	13%	12%	15%	45%
③ 通学路の安全確保	14%	26%	13%	25%	22%
④ 通学時間が長くなることによる児童生徒の疲労	22%	17%	9%	21%	31%
⑤ 通学時間が長くなることによる家庭学習時間の減少	12%	16%	14%	22%	37%
⑥ 学力が低下した	3%	17%	12%	25%	43%
⑦ 環境変化による学校生活への戸惑いが見られた	2%	17%	17%	43%	21%
⑧ 不登校が増加した	3%	10%	10%	32%	45%
⑨ いじめが増加した	1%	9%	8%	37%	45%
⑩ 異年齢の交流が減った	3%	13%	10%	32%	42%
⑪ 放課後の活動時間が減った	15%	15%	10%	24%	35%
⑫ 発表や活躍の機会が減った	5%	15%	13%	30%	38%
⑬ その他	0%	0%	0%	4%	95%

N=782(過去3年間の統合実施件数)

学校統合に際して生じる課題2

＜教育活動／指導体制・指導方法に与えた効果＞	課題である	課題であるが一定の改善がみられた	課題であるが解消される見込み	課題であったが解消された	課題と認識していない
⑭ きめ細かな指導が難しくなった	6%	20%	14%	26%	34%
⑮ 学習規律の確保が困難になった	2%	13%	11%	35%	40%
⑯ 発表の機会が減った	4%	18%	12%	31%	36%
⑰ 活躍の機会が減った	3%	19%	13%	29%	36%
⑱ 教材や用具などが行き渡らなくなった	1%	9%	9%	38%	42%
⑲ 先生と子供の距離が遠くなった	1%	13%	11%	36%	40%
⑳ 地域に密着した教育が難しくなった	9%	21%	14%	26%	30%
㉑ 施設設備が狭隘化した	5%	9%	8%	37%	41%
㉒ 特別な支援を要する児童生徒へのきめ細かな対応	5%	14%	10%	32%	38%
㉓ 放課後活動が困難になった	14%	14%	12%	25%	35%
㉔ その他	1%	0%	0%	3%	96%

＜その他＞	課題である	課題であるが一定の改善がみられた	課題であるが解消される見込み	課題であったが解消された	課題と認識していない
㉕ 保護者との共通理解の醸成	3%	20%	16%	32%	29%
㉖ 地域住民との共通理解の醸成	4%	20%	19%	29%	27%
㉗ PTA活動が停滞した	1%	12%	12%	36%	39%
㉘ 学校と地域の関係が希薄化した	7%	19%	15%	27%	32%
㉙ 校区変更により地域活力が低下した	12%	14%	16%	25%	34%
㉚ 教職員間の意見の不一致が生じた	0%	9%	8%	41%	42%
㉛ 地域間の意見の不一致が生じた	3%	14%	12%	34%	37%
㉜ その他	1%	0%	0%	3%	95%

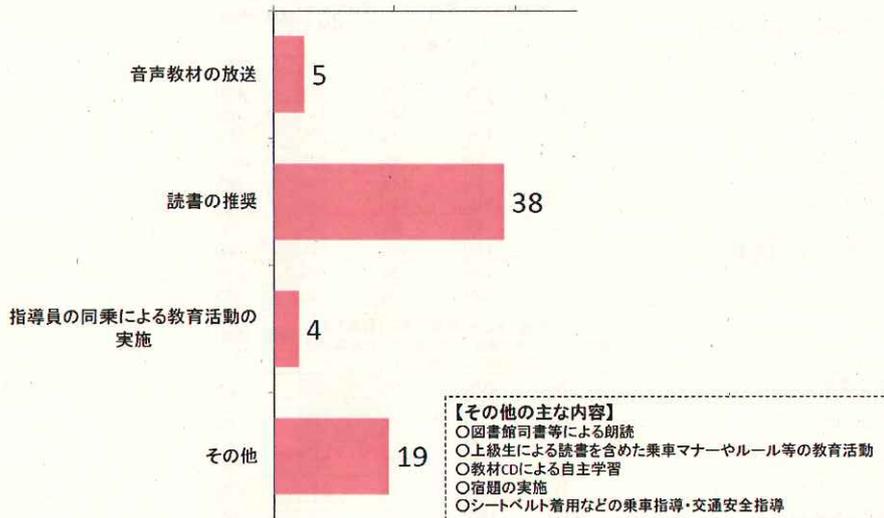
N=782(過去3年間の統合実施件数)

スクールバス導入に伴う工夫

	1 殆どの学校で取り組まれている	2 多くの学校で取り組まれている	3 一部の学校で取り組まれている	4 殆ど取り組まれている
① 乗車指導・安全指導の継続的实施	91%	3%	3%	3%
② 停留所の安全確保	82%	6%	5%	7%
③ 運行ルート等の設定に係る地域・PTA等との協議	70%	4%	8%	17%
④ 保護者の輪番による同乗	1%	0%	1%	98%
⑤ 地域住民の輪番による同乗	1%	0%	1%	98%
⑥ 教職員の輪番による同乗	9%	3%	9%	80%
⑦ 放課後の児童生徒の待機場所の確保	65%	6%	8%	21%
⑧ 保護者や地域住民によるバス乗降の見守り活動の実施	27%	9%	14%	49%
⑨ 降車場所や停留所から自宅に帰る道筋での安全確保	53%	9%	10%	28%
⑩ スクールバスの乗車時間の有効活用	3%	1%	2%	95%
⑪ 乗車前後の時間の有効活用	11%	3%	8%	78%
⑫ 長時間乗車後に授業などに集中させるための工夫	2%	0%	4%	93%
⑬ 徒歩時間減少による体力低下防止策	12%	5%	9%	75%

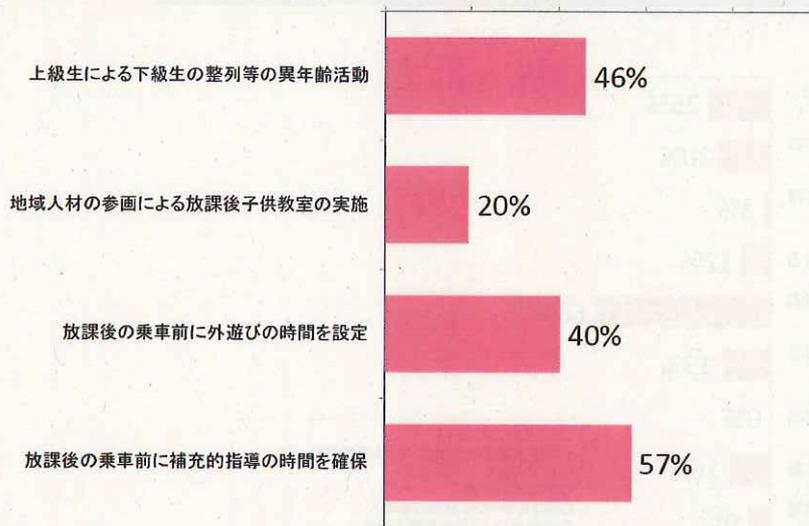
N=1037(スクールバスを導入している市区町村)

スクールバスの乗車時間の有効活用



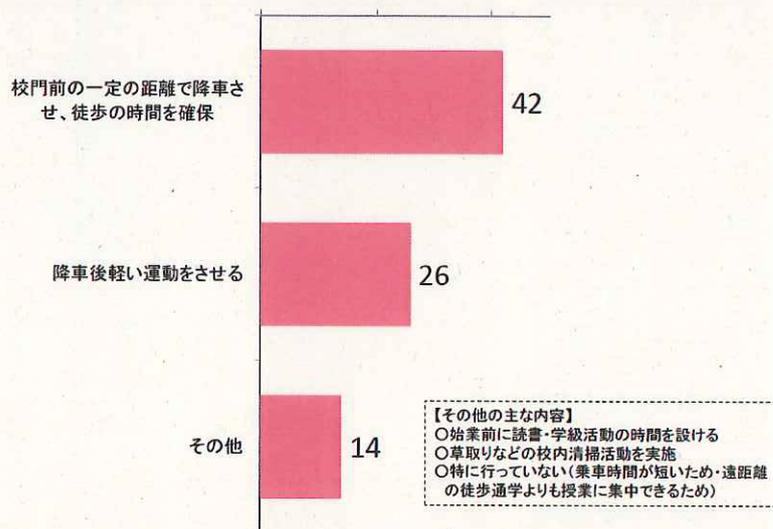
N=54(スクールバスの乗車時間の有効活用している市区町村)

乗車前後の時間の有効活用



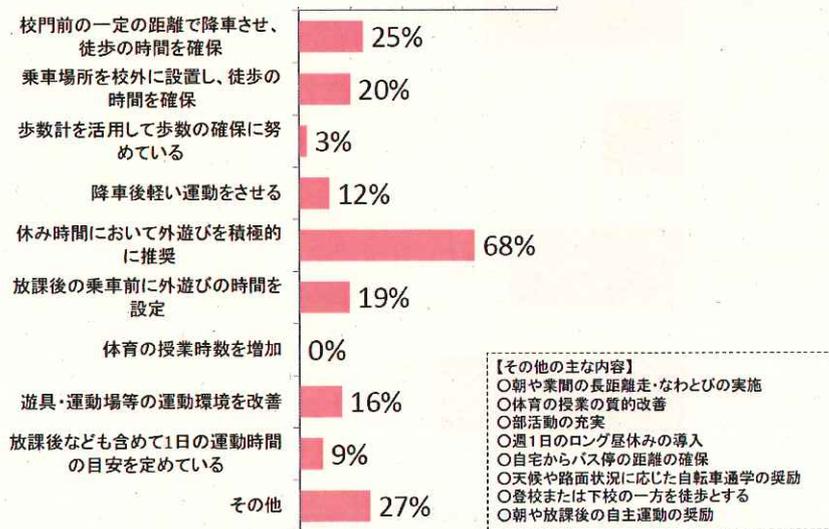
N=225(乗車前後の時間の有効活用している市区町村)

長時間乗車後に授業などに集中させるための工夫



N=42(長時間乗車後に授業などに集中させるための工夫をしている市区町村)

徒歩時間減少による体力低下防止策



N=259(徒歩時間減少による体力低下防止策している市区町村)

柏市立小学校及び中学校の適正配置に関する基本方針

平成21年10月 策定

平成28年 3月 改訂

柏市教育委員会学校教育部学校企画室

TEL04-7191-7210

